㈱ホクエツ秋田　大館工場　Ｒ８年４月分資料

目　次

1. 工場認定書

2. JIS 認証書

3. 配合計画書（No,21）
①配合計画書
②アルカリ骨材反応抑制対策
③アルカリ総量計算書

4. 原材料品質証明
①セメント
②骨材
絶乾密度及び吸水率試験
安定性試験
すりへり試験
粒度試験
粒形判定実積率試験
微粒分量試験
有機不純物試験
アルカリシリカ反応性試験
③水
④混和剤
⑤鉄筋

5. コンクリート試験管理表
①圧縮強度管理図
②スランプ管理図
③空気量管理図
④生コン中の塩化物量測定記録

6. 試験機公正証明書
①圧縮強度試験機
②外圧強度試験機
③トレーサビリティ体系

1. 工場認定書

R8・4

工場認定書

株式会社ホクエツ秋田

代表取締役　細井佐一郎　殿

秋田県コンクリート製品協会評価委員会が定めた
認定要領に基づき審査を行った結果　下記工場が
製造品質管理基準を満たしていることを認める

認定番号　ACA－01－1

認定工場　株式会社ホクエツ秋田　大館工場

所 在 地　秋田県大館市二井田字前田野37－1

有効期間　令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日

認 定 日　令和8年4月1日

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

秋田県コンクリート製品協会

会 長　小山雄二

同　評価委員会

委員長　徳重英信

2. JIS 認証書

発効日：2025年1月12日

Certification for Japanese Industrial Standards

日本産業規格適合性認証書

株式会社ホクエツ秋田 殿

産業標準化法第３０条第１項に基づき、下記のとおり
当該日本産業規格への適合を認証いたします。

記

認　証　番　号：TC0206024

認証取得者の氏名及び名称：株式会社ホクエツ秋田
住　　所：秋田県秋田市河辺戸島字野田 158

鉱工業品の名称：プレキャスト無筋コンクリート製品
プレキャスト鉄筋コンクリート製品

認証に係るJIS番号：JIS A 5371，JIS A 5372

認　証　の　区　分：Ⅰ類

工場及び事業所の名称：株式会社ホクエツ秋田 大館工場
所　　在　　地：秋田県大館市二井田字前田野 37-1

「認証の範囲」、「認証マーク等の表示」、「付記事項の表示」及び「表示の方法」については
日本産業規格適合性認証書附属書による。

認　証　契　約　日：2007年1月12日
有　効　期　限：2028年1月11日

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

一般財団法人 建材試験センター
Japan Testing Center for Construction Materials
東京都中央区日本橋堀留町1丁目10番15号
理事長 渡辺 宏

Annex to Certification for Japanese Industrial Standards

日本産業規格適合性認証書附属書

(認証番号:TC0206024)

認証の範囲(種類又は等級):

1 プレキャスト無筋コンクリート製品　I 類

製品の種類	製品
舗装・境界ブロック類	境界ブロック

2 プレキャスト鉄筋コンクリート製品　I 類

製品の種類	製品
路面排水溝類	落ちふた式U形側溝
用排水路類	フリューム

認証マーク等の表示 :

1) 認証マークは、単色とし直径 15mm 以上の大きさで表示する。
2) 認証マーク近傍に、一般財団法人 建材試験センターの略称として、「JTCCM」を表示する。
3) 日本産業規格の種類及び呼びの略号を表示する。

付記事項の表示 : 鉱工業品等には次の事項を表示する。

適合する JIS で定める表示事項

- 認証取得者(製造業者)の名称又は略号
- 製造工場名又は略号
- 製造年月日又は略号

表示の方法 :

1) 認証マーク等は、1 製品ごとに押印する。
2) 容易に消えない方法による。

この写しは原本と相違ありません。
(株) ホクエツ 秋田大館工場

一般財団法人 建材試験センター
上級経営管理者
丸山 慶一郎

3.配合計画書

①配合計画書（No,21）

②アルカリ骨材反応抑制対策

③アルカリ総量計算書

振動流込み製品

配合計画書

示方配合表

・コンクリートの配合種類： №21　・コンクリートの圧縮強度： 設計基準強度 30N/mm²

粗骨材の最大寸法 (mm)	スランプの範囲 (cm)	空気量の範囲 (%)	水セメント比 W/C(%)	細骨材率S/a (%)	コンクリートの材料単位量(kg/m³)							
					水	セメント	－	細骨材		粗骨材	混和剤	
					W	C	－	S_1	S_2	G_1	減水剤	AE剤
15	12.0±2.5	4.5±1.5	42	38	147	350	－	490	205	1154	2.28	0.061

※コンクリート中の塩化物量は0.3kg/m³(Cl⁻)以下とする
※アルカリ骨材反応抑制対策は、アルカリ総量で3.0kg/m³以下とする

使用材料品質特性

（セメント）
メーカー： UBE三菱セメント㈱

種類＼項目	粉末度	凝結		安定性	圧縮強さ(N/mm²)				化学成分(%)				
	比表面積 (cm²/g)	始発 (h-min)	終結 (h-min)		1日	3日	7日	28日	酸化マグネシウム	三酸化硫黄	強熱減量	全アルカリ	塩化物イオン
普通ポルトランドセメント	2500 以上	60min 以上	10h 以下	良	－	12.5 以上	22.5 以上	42.5 以上	5.0 以下	3.5 以下	5.0 以下	0.75 以下	0.035 以下
早強ポルトランドセメント	3300 以上	45min 以上	10h 以下	良	10 以上	20 以上	32.5 以上	47.5 以上	5.0 以下	3.5 以下	5.0 以下	0.75 以下	0.02 以下

（骨材）

種類		砕砂(S1)			一		細砂(S2)			砕石1505(G1)		
産地		仙北市西木町			一		能代市浅内			仙北市西木町		
寸法＼種類		ふるいを通るものの質量百分率(%)										
		20	15	13	10	5	2.5	1.2	0.6	0.3	0.15	
粒度	砕砂(S1)	－	－	－	100	90～100	80～100	50～90	25～65	10～35	2～10	
	一	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	細砂(S2)	－	－	－	100	90～100	80～100	70～100	60～100	40～75	0～10	
	砕石(G1)	100	90～100	－	40～70	0～15	0～5	－	－	－	－	

品種 項目＼種類	密度 (g/cm³)	吸水率 (%)	粒形判定実績率 (%)	粘土塊 (%)	有機不純物	微粒分量試験 (%)	粗粒率
砕砂(S1)	2.5以上	3.0以下	54以上	－	－	2.8±2.0	2.82～3.12
一	－	－	－	－	－	－	－
細砂(S2)	2.5以上	3.5以下	－	1.0以下	標準色より淡い	3.0以下	1.34～1.72
砕石(G1)	2.5以上	3.0以下	56以上(2005として)	－	－	0.5±0.5	6.16～6.74

（混和剤）
メーカー：花王㈱

項目＼種類	密 度 (g/cm³)	塩化物イオン量(Cl⁻) [Ⅰ種](kg/m³)	全アルカリ量 (kg/m3)
減水剤標準形(マイティ21LV-S)	1.048～1.088	0.02以下	0.30以下
AE剤(マイティAE-03)	1.010～1.050	0.02以下	0.30以下

（鉄線・棒鋼）
メーカー：青森昭和産業㈱

普通鉄線	線径(mm)	2.6	3.2	4.0	5.0	6.0
	許容差(mm)	±0.04		±0.05		
	引張強さ(N/mm²)	540～1130		440～1030		390～930

種類・呼び名＼項目		降伏点 (N/mm²)	引張強さ(N/mm²)	伸び (%)	曲げ試験
鉄筋コンクリート用棒鋼	D6 D10 D13 D16	295 以上	440～600	16以上 (2号試験片)	曲げ角度180° 外側に亀裂を生じないこと

㈱ホクエツ秋田 大館工場

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

アルカリ骨材反応抑制対策について

国土交通省「アルカリ骨材反応抑制対策（土木構造物）実施要領」ならびにJIS　A5308　附属書2「アルカリシリカ反応抑制対策の方法」では、次の3つの対策のうち、何れか1つについてご確認頂くことになっております。

1．コンクリート中のアルカリ総量

2．抑制効果のある混合セメント等の使用

3．安全と認められる骨材の使用

また、コンクリート工場製品の場合は、上記1項～3項の対策のうち、どの対策によって管理しているか、当工場からご報告しなければならないことになっております。

このことにより、当工場では、上記第1項の「コンクリート中のアルカリ総量の抑制」により対策を講じております。

㈱ホクエツ秋田　大館工場

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

2242

工場長	品質管理責任者	品質管理係
長谷川	中嶋	渡部

コンクリート中のアルカリ総量計算

8年　4月分

㈱ホクエツ秋田　大館工場

1．配　合　（示方配合表による）

(kg/m³)

配合　No	21			
単位セメント量	350			
単位細骨材量　(S1)	490			
単位細骨材量　(S2)	205			
単位細骨材量　(S3)				
単位減水剤量	2.28			
単位ＡＥ剤量	0.061			

2．材料中の全アルカリ量 (Na_2O換算値：試験成績表による)

(%)

試験月	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	4月分	6ヶ月間の最大値
普通セメント	0.52	0.55	0.55	0.53	0.53	0.52	0.55
早強セメント	0.61	0.63	0.61	0.62	0.53	0.52	0.63

(%)

材料名	セメント	混和材	減水剤	ＡＥ剤
全アルカリ量	0.63	－	1	0.7

※セメントは普通セメント、及び早強セメントの過去6カ月間の最大値です。
セメント以外は、最新の試験成績表に示されている値です。

3．骨材（細骨材）中の塩化物量　(試験成績表による)

(%)

細骨材の種類	(S1) 砕砂	(S2) 細砂		－
塩化物量 (NaCl)	0.003	0.001		－

4．アルカリ総量計算結果（JIS A 5308:2009　附属書Bによる）

Rt＝Rc ＋ Ra ＋ Rs ＋ Rm

Rc＝単位セメント量（C）×セメント（Na2O換算値）/100

Ra＝単位混和材量×混和材中の全アルカリ/100

Rs＝{単位細骨材量(S1) ×NaCl（S1）/100+ 単位細骨材量(S2)×NaCl（S2)/100
+単位細骨材量(S3)×NaCl（S3)/100}×0.53

Rm＝単位減水剤量×減水剤中の全アルカリ/100＋単位AE剤量×AE剤中の全アルカリ/100

Rt ：アルカリ総量（kg/m³）
Rc ：コンクリート中のセメントに含まれる全アルカリ量（kg/m³）
Ra ：コンクリート中の混和材に含まれる全アルカリ量（kg/m³）
Rs ：コンクリート中の骨材（細骨材）に含まれる全アルカリ量（kg/m³）
Rm ：コンクリート中の混和剤に含まれるアルカリ量（kg/m³）

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

(kg/m³)

配合　No	21			
C×Na_2O換算値／100	2.21	0.00	0.00	0.00
Ra	0.00	0.00	0.00	0.00
Rs	0.01	0.00	0.00	0.00
Rm	0.02	0.00	0.00	0.00
アルカリ総量　Ｒｔ	2.2	0.0	0.0	0.0
判定（Rt=3.0kg/m³以下で合格）	合格 不合格	合格 不合格	合格 不合格	合格 不合格

※計算における数値の丸め方は、JIS A 5308:2009 附属書B 表B.1 注a)による。

4.原材料品質証明

①セメント

②骨材

絶乾密度及び吸水率試験

安定性試験

すりへり試験

粒度試験

粒形判定実積率試験

微粒分量試験

有機不純物試験

アルカリシリカ反応性試験

環境安全品質試験

化学分析試験

膨張率試験

③水

④混和材料

⑤混和剤料

⑥鉄筋

R8・4

セメント試験成績表

No.2201-3

2026 年 4 月度

UBE三菱セメント株式会社

品質＼種類		普通ポルトランドセメント JIS R 5210				早強ポルトランドセメント JIS R 5210				高炉セメント B種 JIS R 5211			
		JIS 規格値	試験成績 平均値	試験成績 標準偏差	試験成績 最大値(最小値)	JIS 規格値	試験成績 平均値	試験成績 標準偏差	試験成績 最大値(最小値)	JIS 規格値	試験成績 平均値	試験成績 標準偏差	試験成績 最大値(最小値)
密度 g/cm³		—	3.16	—	—	—	3.14	—	—	—	3.04	—	—
比表面積 cm²/g		2500以上	3280	76	—	3300以上	4620	76	—	3000以上	4040	84	—
凝結	水量 %	—	28.2	—	—	—	29.9	—	—	—	30.1	—	—
	始発 h-min	60min以上	2-16	—	(1-50)	45min以上	1-42	—	(1-20)	60min以上	2-55	—	(2-35)
	終結 h-min	10h以下	3-26	—	3-55	10h以下	2-33	—	3-15	10h以下	4-10	—	5-05
安定性	パット法	良	良	—	—	良	良	—	—	良	良	—	—
圧縮強さ N/mm²	1 d	—	—	—	—	10.0以上	26.2	1.44	—	—	—	—	—
	3 d	12.5以上	31.2	1.53	—	20.0以上	47.8	1.66	—	10.0以上	22.3	1.45	—
	7 d	22.5以上	47.3	1.74	—	32.5以上	60.3	1.82	—	17.5以上	34.9	1.73	—
	28 d	42.5以上	63.5	1.93	—	47.5以上	69.0	1.96	—	42.5以上	62.2	1.92	—
水和熱 J/g	7 d	—	339	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28 d	—	389	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
化学成分 %	酸化マグネシウム	5.0以下	1.36	—	2.48	5.0以下	0.98	—	1.14	6.0以下	3.22	—	3.51
	三酸化硫黄	3.5以下	2.40	—	2.92	3.5以下	2.93	—	2.99	4.0以下	1.99	—	2.16
	強熱減量	5.0以下	2.48	—	2.66	5.0以下	1.06	—	1.34	5.0以下	1.58	—	1.82
	全アルカリ	0.75以下	0.46	—	0.52	0.75以下	0.41	—	0.52	—	—	—	—
	塩化物イオン	0.035以下	0.022	—	0.025	0.02以下	0.007	—	0.011	—	0.014	—	—

備考

○ ポルトランドセメント（全アルカリの最大値のうち直近6ヶ月の最大の値）
- 普通ポルトランドセメント…… 0.55%
- 早強ポルトランドセメント…… 0.63%

○ 高炉セメント B種
- ベースセメントの全アルカリ…… 0.46%
- 高炉スラグの分量…… 40～45%

1. 試験方法は JIS R 5201, JIS R 5202, JIS R 5203, JIS R 5204 による。
2. 28d圧縮強さおよび28d水和熱は前月度の値を示す。

受付 06.3.31 大館工場

この写しは原本と相違ありません。
(株)ホクエツ秋田大館工場

◎ お問い合わせその他のご連絡先
〒980-0811 仙台市青葉区一番町４－１－２５
JRE東二番丁スクエア１２Ｆ
ＵＢＥ三菱セメント株式会社
東北支店
TEL 022-711-5714

細骨材の密度および吸水率試験

JIS A 1109

試験日	令和8年 4月 21日 火曜日	測定者	渡部
試料	種類及び記号	産　地	
	砕砂　S1	仙北市西木町	

測定項目		測定値 1回目	測定値 2回目
① メスフラスコに水(500ml)を満たした質量 m_1	(g)	725.3	719.5
② 表面乾燥飽水状態における密度試験用試料の質量 m_2	(g)	585.2	578.4
③ 試料と水で500mlの目盛まで満たしたメスフラスコの質量 m_3	(g)	1090.2	1080.3
④ 試験温度における水の密度 ρ_W	(g/cm³)	0.9986	0.9986
⑤ 表乾密度 $d_s = \frac{② \times \rho_W}{① + ② - ③}$	(g/cm³)	2.65	2.65
⑥ 表乾密度の平均値	(g/cm³)	2.65	
⑦ 表乾密度の平均値との差	(g/cm³)	0.00	
規格値	2.64±0.02	合・否	
⑧ 表面乾燥飽水状態における吸水率試験用試料の質量 m_4	(g)	572.2	570.6
⑨ 乾燥後の吸水率試験用試料の質量 m_5	(g)	563.4	561.8
⑩ 絶乾密度 $d_d = \frac{⑤ \times ⑨}{⑧}$	(g/cm³)	2.61	2.61
⑪ 絶乾密度の平均値	(g/cm³)	2.61	
⑫ 絶乾密度の平均値との差	(g/cm³)	0.00	
規格値	2.5以上	合・否	
⑬ 吸水率 $Q = \frac{⑧ - ⑨}{⑨} \times 100$	(%)	1.56	1.57
⑭ 吸水率の平均値	(%)	1.57	
⑮ 吸水率の平均値との差	(%)	0.01	
規格値	3.0以下	合・否	
精度	平均値との差は密度試験の場合は0.01g/cm³以下、吸水率試験の場合は0.05%以下でなければならない。	判定	合・否

※ρ_Wは水の密度(g/cm³)20±5℃で、その値は試験技術マニュアルによる。

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

品質管理責任者	品質管理係	測定者
中嶋	渡部	渡部

細骨材の密度および吸水率試験

JIS A 1109

試験日	令和8年 4月 21日 火曜日	測定者	渡部
試料	種類及び記号	産 地	
	細砂 S2	能代市浅内	

測定項目		測定値 1回目	測定値 2回目
① メスフラスコに水(500ml)を満たした質量 m_1	(g)	719.4	725.3
② 表面乾燥飽水状態における密度試験用試料の質量 m_2	(g)	538.6	544.2
③ 試料と水で500mlの目盛まで満たしたメスフラスコの質量 m_3	(g)	1049.2	1059.1
④ 試験温度における水の密度 ρ_W	(g/cm³)	0.9986	0.9986
⑤ 表乾密度 $d_s = \frac{②\times\rho_W}{①+②-③}$	(g/cm³)	2.58	2.58
⑥ 表乾密度の平均値	(g/cm³)	2.58	
⑦ 表乾密度の平均値との差	(g/cm³)	0.00	
規格値	2.58±0.02	合・否	
⑧ 表面乾燥飽水状態における吸水率試験用試料の質量 m_4	(g)	539.2	546.8
⑨ 乾燥後の吸水率試験用試料の質量 m_5	(g)	526.3	533.5
⑩ 絶乾密度 $d_d = \frac{⑤\times⑨}{⑧}$	(g/cm³)	2.52	2.52
⑪ 絶乾密度の平均値	(g/cm³)	2.52	
⑫ 絶乾密度の平均値との差	(g/cm³)	0.00	
規格値	2.5以上	合・否	
⑬ 吸水率 $Q = \frac{⑧-⑨}{⑨}\times 100$	(%)	2.45	2.49
⑭ 吸水率の平均値	(%)	2.47	
⑮ 吸水率の平均値との差	(%)	0.02	
規格値	3.5以下	合・否	
精度	平均値との差は密度試験の場合は0.01g/cm³以下、吸水率試験の場合は0.05%以下でなければならない。	判定	合・否

※ρ_Wは水の密度(g/cm³)20±5℃で、その値は試験技術マニュアルによる。

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

品質管理責任者	品質管理係	測定者
中嶋	渡部	渡部

粗骨材の密度および吸水率試験

JIS A 1110

試験日	令和8年 4月 23日 木曜日	測定者	渡部
試料	種類及び記号	大きさ	産 地
	砕石 G1	15mm	仙北市西木町

測定項目		測定値 1回目	測定値 2回目
① 表面乾燥飽水状態における密度試験用試料の質量 m_1	(g)	1545.3	1549.6
② 試料とかごの水中の見掛けの質量 m_2	(g)	1275.4	1276.3
③ 水中のかごの質量 m_3	(g)	308.4	308.4
④ 水中の試料の見掛けの質量 ②-③	(g/cm^3)	967.0	967.9
⑤ 試験温度における水の密度 ρ_W	(g/cm^3)	0.9986	0.9986
⑥ 表乾密度 $D_s = \frac{① \times \rho_W}{①-④}$	(g/cm^3)	2.67	2.66
⑦ 表乾密度の平均値	(g/cm^3)	2.67	
⑧ 表乾密度の平均値との差	(g/cm^3)	0.01	
規格値	2.67±0.02	合・否	
⑨ 絶対乾燥状態の質量 m_4	(g)	1526.8	1531.4
⑩ 絶乾密度 $D_d = \frac{⑨ \times \rho_W}{①-④}$	(g/cm^3)	2.64	2.63
⑪ 絶乾密度の平均値	(g/cm^3)	2.64	
⑫ 絶乾密度の平均値との差	(g/cm^3)	0.01	
規格値	2.5以上	合・否	
⑬ 吸水率 $Q = \frac{(①-⑨)}{⑨} \times 100$	(%)	1.21	1.19
⑭ 吸水率の平均値	(%)	1.20	
⑮ 吸水率の平均値平均値との差	(%)	0.01	
規格値	3.0以下	合・否	
精度	平均値との差は密度試験の場合は0.01g/cm³以下、吸水率試験の場合は0.03%以下でなければならない。	判定	合・否

※ρ_Wは水の密度(g/cm^3)20±5℃で、その値は試験技術マニュアルによる。

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

品質管理責任者	品質管理係	測定者
中嶋	渡部	渡部

試験規格	硫酸ナトリウムによる細骨材の安定性試験表
JIS A 1122:2014	
試験年月日	令和 7 年12月22日 ～ 12月27日
試験実施場所	技術研修センター　試験室
試料 No.	S－15749
試料 工場名	臨海砕石株式会社
試料 種類	砕砂
試料 産地	秋田県仙北市西木町小山田字鎌足地内
試料 採取月日	令和 7 年12月 4 日

とどまるふるい (mm)	通るふるい (mm)	各群の質量分率 (%)	試験前の各群の質量 (g)	試験後の各群の質量 (g)	各群の損失質量分率 (%)	骨材の損失質量分率 (%)
—	0.075	0	—	—	—	—
0.075	0.15	4	—	—	—	—
0.15	0.3	12	—	—	—	—
0.3	0.6	21	100.0	98.9	1.1	0.2
0.6	1.2	29	100.0	99.2	0.8	0.2
1.2	2.5	25	100.0	99.0	1.0	0.3
2.5	5	9	100.0	98.9	1.1	0.1
5	10					
合計		100				0.8

秋田県生コンクリート工業組合　技術研修センター

以上

受付 '08.1.20 大館工場

この写しは原本と相違ありません。
(株)ホクエツ秋田 大館工場

細骨材の試験結果報告書

試験番号　26S15837－2／8頁
発行日　令和8年3月13日
〒011-0904 秋田市寺内蛭根1-15-18
秋田県生コンクリート工業組合 技術研修センター
TEL 018-824-5540, FAX 018-823-8339
承認署名者・所長　木村 敏彦

有限会社相原建材 御中

件名		
顧客名称		有限会社相原建材
顧客住所		能代市浅内字上西山80
試験品目	種類※	細砂
	産地※	能代市浅内地内
	採取場所※	能代市浅内地内
	採取者※	相原 貞真
	採取月日※	令和8年3月4日
	その他※	
	受入れ時の状態	持込み・土嚢袋1袋（約25 kg）
	受領年月日	令和8年3月4日

上記試験品目の試験結果は、下記の通りであることを証明いたします。

試験項目及び試験方法	試験結果
有機不純物 JIS A 1105:2015	試験年月日：令和8年3月11日 試験実施場所：技術研修センター　計量室 標準色より淡い
塩化物量 JIS A 5308:2024　附属書JA JA.10p)	0.001 % ☆詳細は7頁のとおり
安定性 JIS A 1122:2014	0.9 % ☆詳細は8頁のとおり
備考 受付 '08.3.10 大館工場　渡部　中嶋　長谷川　合 ・上記試験項目は、全国生コンクリート工業組合連合会認定試験項目である。	

注1）本書の試験結果は、本書中に記載の試料についてのみ有効です。
2）※印の記載は、顧客の申告による。
3）本報告書は、秋田県生コンクリート工業組合技術研修センターの文書による承認なしでは、完全な複製を除き、試験報告書の一部分だけを複製しないで下さい。

この写しは原本と相違ありません。
(株)ホクエツ秋田大館工場

試験規格	硫酸ナトリウムによる細骨材の安定性試験表
JIS A 1122:2014	
試験年月日	令和 8 年 3 月 6 日 ～ 3 月11日
試験実施場所	技術研修センター　試験室
試料 No.	S−15837
試料 工場名	有限会社相原建材
試料 種類	細　砂
試料 産地	能代市浅内地内
試料 採取月日	令和 8 年 3 月 4 日

とどまるふるい (mm)	通るふるい (mm)	各群の質量分率 (%)	試験前の各群の質量 (g)	試験後の各群の質量 (g)	各群の損失質量分率 (%)	骨材の損失質量分率 (%)
—	0.075	0	—	—	—	—
0.075	0.15	2	—	—	—	—
0.15	0.3	43	—	—	—	—
0.3	0.6	53	100.0	98.3	1.7	0.9
0.6	1.2	2			1.7	0.0
1.2	2.5	0			1.7	0.0
2.5	5					
5	10					
合計		100				0.9

秋田県生コンクリート工業組合　技術研修センター

以上

受付 08.3.16 大館工場

渡部 中嶋 長谷川 合

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

試験規格	硫酸ナトリウムによる粗骨材の安定性試験表
JIS A 1122:2014	
試験年月日	令和 7 年12月22日 ～ 12月27日
試験実施場所	技術研修センター　試験室
試料 No.	G－15753
試料 工場名	臨海砕石株式会社
試料 種類	砕石　1505
試料 産地	秋田県仙北市西木町小山田字鎌足地内
試料 採取月日	令和 7 年12月 4 日

とどまるふるい (mm)	通るふるい (mm)	各群の質量分率 (%)	試験前の各群の質量 (g)	試験後の各群の質量 (g)	各群の損失質量分率 (%)	骨材の損失質量分率 (%)
5	10	54	302	300	0.7	0.4
10	15	46	501	494	1.4	0.6
15	20					
20	25					
25	40					
合計		100				1.0

秋田県生コンクリート工業組合　技術研修センター

以上

受付 08.1.20 大館工場

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

試験規格	ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験表
JIS A 1121：2022	
試験年月日	令和 7 年12月18日
試験実施場所	技術研修センター　試験室・ロサンゼルス室
試料 No.	G－15753
試料 工場名	臨海砕石株式会社
試料 種類	砕石　1505
試料 産地	秋田県仙北市西木町小山田字鎌足地内
試料 採取月日	令和 7 年12月 4 日

とどまるふるい (mm)	通るふるい (mm)	各群の質量分率 (%)	試験前の各群の質量 (g)
60	80		
50	60		
40	50		
25	40		
20	25		
15	20		
10	15	45	2499
5	10	54	2500
2.5	5	1	
—	2.5	0	
合計		100	4999

試験前の試料の質量：m_1	(g)	4999
粒度区分		C
球の数	(個)	8
球の全質量	(g)	3330
試験後1.7 mmふるいに残った質量：m_2	(g)	4491
すりへり減量：R	(%)	10.2

備考

受付 06.1.20 大館工場　渡部　中嶋　長谷川　合

この写しは原本と相違ありません。
(株)ホクエツ 秋田大館工場

骨材のふるい分け試験（細骨材）

JIS A 1102

試験・算定日	令和8年 4月 8日 水曜日	測定・算定者	渡部

試験試料の質量差：ふるい分け前全質量とふるい分け後全質量の差は、1%以上異なってはならない。

S1 試験前質量(g)	S1 試験後質量(g)	S1 誤差(%)	S2 試験前質量(g)	S2 試験後質量(g)	S2 誤差(%)
526.8	526.7	0.02	540.1	540.0	0.02

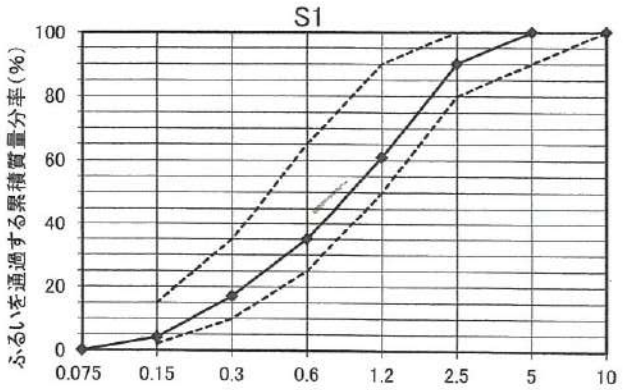
試料	種類及び記号		大きさ	産地	種類及び記号		大きさ	産地
	砕砂	S1		仙北市西木町	細砂	S2		能代市浅内

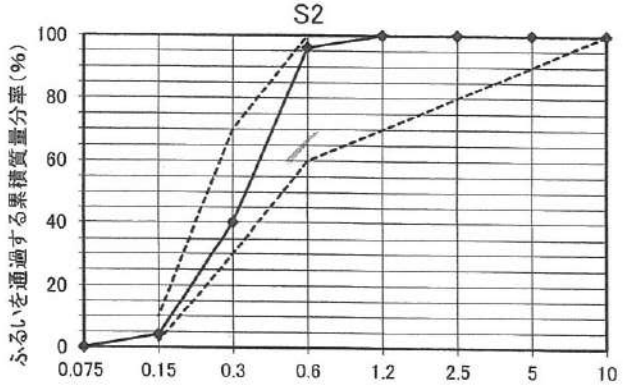
混合内容	S1 : S2 = 7 : 3	ふるい分け方法	手動

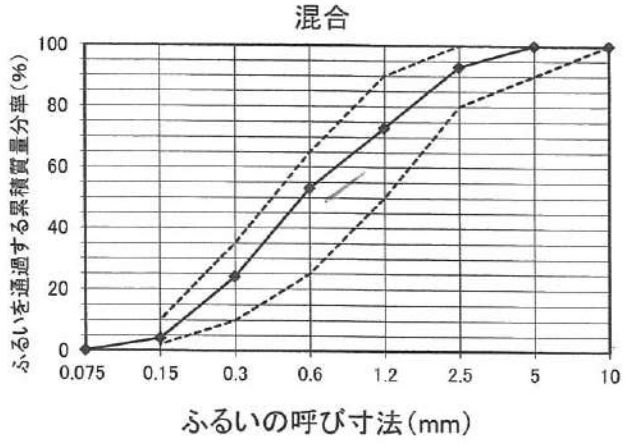
ふるいの呼び寸法	mr	S1 各ふるいにとどまる質量と質量分率				S1 通過累積質量分率	S2 各ふるいにとどまる質量と質量分率				S2 通過累積質量分率	混合累積質量分率
(mm)	(g)	(g)	(%)	調整(%)	累計(%)	(%)	(g)	(%)	調整(%)	累計(%)	(%)	(%)
9.5(10)	—	0.0	0	0	0	100	0.0	0	0	0	100	100
4.75(5)	228.2	0.0	0	0	0	100	0.0	0	0	0	100	100
2.36(2.5)	160.9	50.2	10	10	10	90	0.2	0	0	0	100	93
1.18(1.2)	113.8	151.8	29	29	39	61	1.5	0	0	0	100	73
0.6	81.1	138.2	26	26	65	35	22.2	4	4	4	96	53
0.3	57.4	95.8	18	18	83	17	300.2	56	56	60	40	24
0.15	40.6	68.2	13	13	96	4	194.3	36	36	96	4	4
0.075	28.7	20.4	4	4	100	0	20.4	4	4	100	0	0
受皿	—	2.1	0	0	100	0	1.2	0	0	100	0	0
計	—	526.7	100	100	—	—	540.0	100	100	—	—	—

mrは、その部分の試料を、規定した最大質量より小さくなるように分け、これを次々にふるい分け、総和測定する。

S1	粗粒率	2.93	規格範囲	2.82	～	3.12	判定	合・否
S2	粗粒率	1.60	規格範囲	1.34	～	1.72	判定	合・否
混合	粗粒率	2.53	規格範囲	2.35	～	2.73	判定	合・否







この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

連続するふるいに留まる量との差	
規格：45%以上 あってはならない	合・否

品質管理責任者	品質管理係	測定者

R8・4

骨材のふるい分け試験（粗骨材）

JIS A 1102

試験・算定日	令和8年 4月 16日 木曜日	測定・算定者	渡部

試験試料の質量差：ふるい分け前全質量とふるい分け後全質量の差は、1%以上異なってはならない。

	G1					
試験前質量(g)	試験後質量(g)	誤差(%)	試験前質量(g)	試験後質量(g)	誤差(%)
3324	3323	0.03			

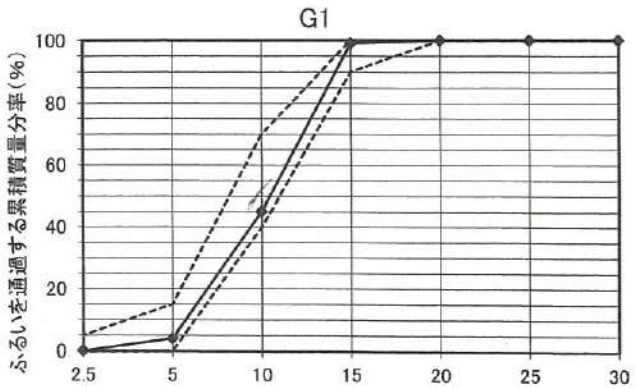
試料	種類及び記号		大きさ	産地	種類及び記号	大きさ	産地
	砕石	G1	15mm	仙北市西木町			

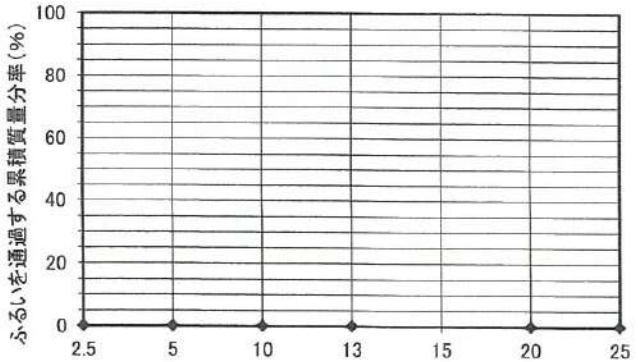
混合内容	: = :	ふるい分け方法	手動

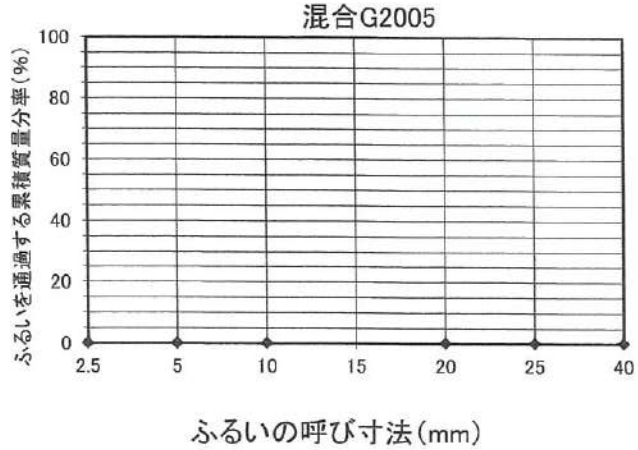
ふるいの呼び寸法	mr	G1 各ふるいにとどまる質量と質量分率				G1 通過累積質量分率		各ふるいにとどまる質量と質量分率				通過累積質量分率	混合2005 通過累積質量分率
(mm)	(g)	(g)	(%)	調整(%)	累計(%)	(%)	(g)	(%)	調整(%)	累計(%)	(%)	(%)
31.5(30)	—	0	0	0	0	100						
26.5(25)	—	0	0	0	0	100						
19(20)	—	5	0	0	0	100						
16(15)	—	28	1	1	1	99						
9.5(10)	—	1766	53	54	55	45						
4.75(5)	228.2	1368	41	41	96	4						
2.36(2.5)	160.9	142	4	4	100	0						
受皿	—	14	0	0	100	0						
計	—	3323	99	100	—	—						

mrは、その部分の試料を、規定した最大質量より小さくなるように分け、これを次々にふるい分け、総和測定する。

G1	粗粒率	6.51	規格範囲	6.16 ～ 6.74	判定	合・否
	粗粒率		規格範囲	～	判定	合・否
	粗粒率		規格範囲	～	判定	合・否







この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

品質管理責任者	品質管理係	測定者
千嶋	渡部	渡部

R8・4

粒形判定実積率試験

JIS A 5005

試験日	令和8年 4月 28日 火曜日			測定者	渡部
試料	種類及び記号		大きさ	産地	
	砕砂	S1		仙北市西木町	

測定項目			測定値 1回目	測定値 2回目
① 容器の容積	V	(l)	2.0186	2.0186
② 試料と容器の質量		(kg)	3.7925	3.7986
③ 容器質量		(kg)	0.8049	0.8049
④ 容器中の試料の質量	m_1 m_1=②−③	(kg)	2.9876	2.9937
⑤ 単位容積質量	T T=④／①	(kg／l)	1.48	1.48
⑥ 単位容積質量の平均値		(kg／l)	1.48	
⑦ 単位容積質量の平均値との差		(kg／l)	0.00	
⑧ 絶乾密度	d_D	(g/cm^3)	2.61	
⑨ 粒形判定実積率	G G=⑥／⑧×100	(%)	56.7	
規格値	54以上		合・否	
精度	単位容積質量の平均値からの差は、0.01kg／l以下でなければならない。		判定	合・否

1)砕石の試料は、砕石2005を用い、絶乾状態になるまでよく乾燥して、20～10mmの粒を24kg、10～5mmの粒を16kgにそれぞれふるい分け、これを合わせてよく混合したものとする。
砕砂の試料は、十分に水洗いを行ないながらふるい分け、呼び寸法2.5mmふるいを通過し、呼び寸法1.2mmのふるいに留まるものを採り、絶乾状態としたものとする。

2)単位容積質量は、JISA1104に規定する方法で求める。

3)絶乾密度は、JISA1109、JISA1110で求めた数値を用いる。

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

品質管理責任者	品質管理係	測定者
中嶋	渡部	渡部

骨材の微粒分量試験

JIS A 1103

試験日	令和8年 4月 8日 水曜日	測定者	渡部

試料	種類及び記号		大きさ	産地
	A: 砕砂	S1		仙北市西木町
	B: 細砂	S2		能代市浅内

測定項目		測定値 A: 砕砂 S1 1回目	測定値 A: 砕砂 S1 2回目	測定値 B: 細砂 S2 1回目	測定値 B: 細砂 S2 2回目
① 洗う前の試料の乾燥質量	m_1 (g)	531.6	540.2	542.6	545.3
② 洗った後の試料の乾燥質量	m_2 (g)	518.3	526.8	536.2	540.1
③ 骨材中の微粒分量 $A=\frac{①-②}{①}\times 100$	(%)	2.5	2.5	1.2	1.0
④ 微粒分量の平均値	(%)	2.5		1.1	
⑤ 平均値からの差	(%)	0.0		0.1	
規格値 S1 2.8±2.0 S2 3.0以下		合・否		合・否	
精度 平均値からの差は細骨材の場合は0.3%以下、粗骨材の場合は0.2%以下でなければならない。ただし、測定値のいずれか一方でも10%以上の場合はこの限りではない。		判定	合・否	判定	合・否

※ ③、④は四捨五入によって小数点以下1けたに丸める。

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

品質管理責任者	品質管理係	測定者
中嶋	渡部	渡部

骨材の微粒分量試験

JIS A 1103

試験日	令和8年 4月 9日 木曜日	測定者	渡部

試料	種類及び記号		大きさ	産地
	A: 砕石	G1	15mm	仙北市西木町
	B:			

測定項目			測定値 A: 砕石 G1 1回目	測定値 A: 砕石 G1 2回目	測定値 B: 1回目	測定値 B: 2回目
① 洗う前の試料の乾燥質量	m_1	(g)	2056.2	2068.6		
② 洗った後の試料の乾燥質量	m_2	(g)	2050.2	2064.3		
③ 骨材中の微粒分量 $A=\frac{①-②}{①}\times 100$		(%)	0.3	0.2		
④ 微粒分量の平均値		(%)	0.3			
⑤ 平均値からの差		(%)	0.1			
規格値	0.5±0.5		合・否		合・否	
精度	平均値からの差は細骨材の場合は0.3%以下、粗骨材の場合は0.2%以下でなければならない。ただし、測定値のいずれか一方でも10%以上の場合はこの限りではない。		判定	合・否	判定	合・否

※ ③、④は四捨五入によって小数点以下1けたに丸める。

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

品質管理責任者	品質管理係	測定者

細骨材の試験結果報告書

試験番号　26S15837－2／8頁
発行日　　令和８年３月13日
〒011-0904 秋田市寺内蛭根1－15－18
秋田県生コンクリート工業組合 技術研修センター
TEL 018-824-5540, FAX 018-823-8330
承認署名者・所長　　木村 敏彦

有限会社相原建材 御中

件名		
顧客名称		有限会社相原建材
顧客住所		能代市浅内字上西山80
試験品目	種類 ※	細砂
	産地 ※	能代市浅内地内
	採取場所※	能代市浅内地内
	採取者 ※	相原 貞真
	採取月日※	令和 8 年 3 月 4 日
	その他 ※	
	受入れ時の状態	持込み・土嚢袋１袋（約25 kg）
	受領年月日	令和 8 年 3 月 4 日

上記試験品目の試験結果は、下記の通りであることを証明いたします。

試験項目及び試験方法	試験結果
有機不純物 JIS A 1105:2015	試験年月日：令和 8 年 3 月11日 試験実施場所：技術研修センター　計量室 標準色より淡い
塩化物量 JIS A 5308:2024　附属書JA JA.10p)	0.001 % ☆詳細は７頁のとおり
安定性 JIS A 1122:2014	0.9 % ☆詳細は８頁のとおり
備考 ・上記試験項目は、全国生コンクリート工業組合連合会認定試験項目である。	

受付 '08.3.19 大館工場　渡部　中嶋　長谷川　合

注１）本書の試験結果は、本書中に記載の試料についてのみ有効です。
２）※印の記載は、顧客の申告による。
３）本報告書は、秋田県生コンクリート工業組合技術研修センターの文書による承認なしでは、完全な複製を除き、試験報告書の一部分だけを複製しないで下さい。

この写しは原本と相違ありません。
(株)ホクエツ秋田大館工場

R8・4

骨材のアルカリシリカ反応性試験結果報告書

110322JP

臨海砕石株式会社 御中

試験番号　26C5953－1／1頁
発行日　令和 8 年 1 月30日
〒011-0904 秋田市寺内蛭根1－15－18
秋田県生コンクリート工業組合技術研修センター
TEL 018-824-5540　FAX 018-823-8339
承認署名者・所長　木村敏彦

件名		
顧客名称		臨海砕石株式会社
顧客住所		大仙市大曲西根字西道地野502番地2
試験品目	種類 ※	砕砂
	産地 ※	仙北市西木町小山田字鎌足地内
	採取場所※	産地に同じ
	採取者 ※	伊藤 和也
	採取月日※	令和 8 年 1 月20日
	製造業者※	臨海砕石株式会社
	その他※（採取立会者）	(㈱ホクエツ秋田大曲工場)加藤 潮,(ホクエツ工業㈱秋田工場)金 啓一,(共和コンクリート工業㈱大曲工場)菅 道郎,(盛岡カイハツ生コンクリート㈱大曲工場)加登野 貴之,(㈱ホクエツ秋田大館工場)中嶋 昌志,(㈱ホクエツ秋田能代工場)長谷川 牧也,(万六建設㈱)木村 悟,
	受入れ時の状態	持込み・土嚢袋２袋(約50 kg)
	受領年月日	令和 8 年 1 月20日

上記試験品目の試験結果は、下記の通りであることを証明いたします。

試験年月日	令和 8 年 1 月27日 ～ 1 月28日				
試験実施場所	技術研修センター計量室				
試験方法	JIS A 1145:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」但し、溶解シリカ量の定量は原子吸光光度法により行った。				
試験項目	試験結果 (mmol／L)				判定
	1	2	3	平均値	
アルカリ濃度減少量（Rc）	55	58	53	55	無害
溶解シリカ量（Sc）	27	27	27	27	
判定は、JIS A 1145:2022 11 骨材のアルカリシリカ反応性の判定によった。この判定には、試験における測定の不確かさを考慮していません。					

注1）本書の試験結果は、本書中に記載の試料についてのみ有効です。
2）※印の記載は、顧客の申告による。
3）本報告書は、秋田県生コンクリート工業組合技術研修センターの文書による承認なしでは、完全な複製を除き、試験報告書の一部分だけを複製しないで下さい。

この写しは原本と相違ありません。
(株)ホクエツ秋田大館工場

以上

原本と相違ないことを証明します。
令和 8年 1月22日
秋田市寺内蛭根1－15－18
秋田県生コンクリート工業組合
技術研修センター

骨材のアルカリシリカ反応性試験結果報告書

R8・4

110322JP

有限会社相原建材 御中

試験番号　26C5967－1／1頁
発行日　令和 8 年 2 月27日
〒011-0904 秋田市寺内蛭根1-15-18
秋田県生コンクリート工業組合技術研修センター
TEL 018-824-5540, FAX 018-823-8330
承認署名者・所長 [illegible]

件名		
顧客名称		有限会社相原建材
顧客住所		能代市浅内字上西山80
試験品目	種類 ※	細砂
	産地 ※	能代市浅内地内
	採取場所※	産地に同じ
	採取者 ※	相原 貞真
	採取月日※	令和 8 年 2 月17日
	製造業者※	有限会社相原建材
	その他※ (採取立会者)	堀江建材株式会社 生コン部　阿部 裕一 中友商事株式会社　木藤 孝弘 株式会社ホクエツ秋田 大館工場　中嶋 株式会社ホクエツ秋田 能代工場　長谷川 佐藤建設株式会社　菅原 ティージー生コン株式会社　高橋 壮史
	受入れ時の状態	持込み・土嚢袋1袋(約25 kg)
	受領年月日	令和 8 年 2 月17日

上記試験品目の試験結果は、下記の通りであることを証明いたします。

試験年月日	令和 8 年 2 月25 日 ～ 2 月26日				
試験実施場所	技術研修センター計量室				
試験方法	JIS A 1145:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」 但し、溶解シリカ量の定量は原子吸光光度法により行った。				
試験項目	試験結果 (mmol／L)				判定
	1	2	3	平均値	
アルカリ濃度減少量 (Rc)	123	128	120	124	無害
溶解シリカ量 (Sc)	103	101	103	102	
判定は、JIS A 1145:2022　11 骨材のアルカリシリカ反応性の判定によった。 この判定には、試験における測定の不確かさを考慮していません。					

注1）本書の試験結果は、本書中に記載の試料についてのみ有効です。
2）※印の記載は、顧客の申告による。
3）本報告書は、秋田県生コンクリート工業組合技術研修センターの文書による承認なしでは、完全な複製を除き、試験報告書の一部分だけを複製しないで下さい。
4）上記試料は、顧客により縮分されて約25 kgとされたものである。

この写しは原本と相違ありません。
(株)ホクエツ秋田 大館工場

以上

原本と相違ないことを証明します。
令和 8 年 2 月 27 日
秋田市寺内蛭根1－15－18
秋田県生コンクリート工業組合
技術研修センター

受付 '26.3.04 大館工場

骨材のアルカリシリカ反応性試験結果報告書

R8・4

110322JP

臨海砕石株式会社 御中

試験番号　26C5954－1／1頁
発行日　令和 8 年 1 月30日
〒011-0904 秋田市寺内蛭根1－15－18
秋田県生コンクリート工業組合技術研修センター
TEL 018-824-5540, FAX 018-823-8339
承認署名者・所長 木村敏彦

件名		
顧客名称		臨海砕石株式会社
顧客住所		大仙市大曲西根字西道地野502番地2
試験品目	種類 ※	砕石 2005
	産地 ※	仙北市西木町小山田字鎌足地内
	採取場所※	産地に同じ
	採取者 ※	伊藤 和也
	採取月日※	令和 8 年 1 月20日
	製造業者※	臨海砕石株式会社
	その他※ (採取立会者)	(㈱ホクエツ秋田大曲工場)加藤 潮, (ホクエツ工業㈱秋田工場)金 啓一, (共和コンクリート工業㈱大曲工場)菅 道郎, (東北太平洋生コン㈱協和工場)佐々木 清明, (盛岡カイハツ生コンクリート㈱大曲工場)加登野 貴之, (秋田太平洋生コン㈱角館工場)草薙 一紀, (秋田県南生コン㈱大曲工場)草薙 正紀, (秋田県南生コン㈱横手工場)菊地 尚寿, (秋田生コンクリート㈱)熊谷 孝, (㈱男鹿萬年)戸島 勝彦, (㈱湯沢生コン)三春 嘉哉, (㈱湯沢生コン増田工場)藤原 啓,(ティージー生コン㈱)米川 和久, (㈱ホクエツ秋田 大館工場)中嶋 昌志 , (㈱ホクエツ秋田 能代工場)長谷川 牧也 (万六建設㈱)木村 悟,
	受入れ時の状態	持込み・土嚢袋２袋(約50 kg)
	受領年月日	令和 8 年 1 月20日

上記試験品目の試験結果は、下記の通りであることを証明いたします。

試験年月日	令和 8 年 1 月29日 ～ 1 月30日				
試験実施場所	技術研修センター計量室				
試験方法	JIS A 1145:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」 但し、溶解シリカ量の定量は原子吸光光度法により行った。				
試験項目	試験結果 (mmol／L)				判定
	1	2	3	平均値	
アルカリ濃度減少量 (Rc)	49	52	50	50	無害
溶解シリカ量 (Sc)	27	27	27	27	

判定は、JIS A 1145:2022　11 骨材のアルカリシリカ反応性の判定によった。
この判定には、試験における測定の不確かさを考慮していません。

この写しは原本と相違ありません。
(株) ホクエツ秋田大館工場

注1）本書の試験結果は、本書中に記載の試料についてのみ有効です。
2）※印の記載は、顧客の申告による。
3）本報告書は、秋田県生コンクリート工業組合技術研修センターの文書による承認なしでは、完全な複製を除き、試験報告書の一部分だけを複製しないで下さい。

受付 R8.2.03 大館工場

原本と相違ないことを証明します。
令和 8 年 1 月30日
秋田市寺内蛭根1－15－18
秋田県生コンクリート工業組合
技術研修センター

以上

水　質　試　験　結　果　報　告　書

試験番号　２６水５０４９　－１／３頁
発 行 日　　令和 ８ 年 ２ 月２７日
〒011-0904 秋田市寺内蛭根1－15－18
秋田県生ｺﾝｸﾘｰﾄ工業組合 技術研修センター
TEL 018-824-5540, FAX 018-823-8039
承認署名者・所長　木 村　敏

株式会社ホクエツ秋田 大館工場 御中

件　　名		
顧　　客		株式会社ホクエツ秋田 大館工場
顧 客 住 所		大館市二井田字前田野37-1
試験品目	種　類　※	上水道水以外の水（工業用水）
	採 取 場 所 ※	株式会社ホクエツ秋田 大館工場内
	採 取 者 ※	渡部 銀慈
	採 取 月 日 ※	令和 ８ 年 １ 月２７日
	受入時の状態	宅配便・ポリ容器4 L
	受 領 年 月 日	令和 ８ 年 １ 月２８日

上記試験品目の試験結果は，下記の通りであることを証明いたします。

試験方法	JIS A 5308：2024　附属書JC	
試験項目	試　験　結　果	
懸濁物質の量	試験年月日 試験実施場所	令和 ８ 年 １ 月２９日 技術研修センター　計量室 0.0 g／L
溶解性蒸発残留物の量	試験年月日 試験実施場所	令和 ８ 年 １ 月２９日 技術研修センター　計量室 0.3 g／L
塩化物イオン（Ｃｌ⁻）量	☆詳細は２頁のとおり	11.31 mg/L
セメントの凝結時間の差	始発時間の差 終結時間の差 ☆詳細は３頁のとおり	５ 分 ５ 分
モルタルの圧縮強さの比	材齢　７日 材齢２８日 ☆詳細は３頁のとおり	99 % 100 %
備考　基準水は精製水を使用した。 ・上記試験項目は，全国生コンクリート工業組合連合会認定試験項目である。		

注１）本書の試験結果は，本書中に記載の試験品目についてのみ有効です。
２）※印の記載は，顧客の申告による。
３）本報告書は，秋田県生コンクリート工業組合技術研修センターの文書による承認なしでは，完全な複製を除き，試験報告書の一部分だけを複製しないで下さい。

受付 08.3.02 大館工場

この写しは原本と相違ありません。
(株) ホクエツ秋田 大館工場

塩化物イオン（Cl⁻）量の試験表

試験方法		塩化物イオン(Cl⁻)量の試験(JIS A 5308:2024 附属書JC)（フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度の試験方法（電位差滴定法）（JIS A 1144:2010））	
試験年月日		令和 8 年 1 月29日	
試験実施場所		技術研修センター　計量室	
試料	No.	水－5049	
	工場名	株式会社ホクエツ秋田 大館工場	
	種類	上水道水以外の水（工業用水）	
測定番号		1	2
試料の量：V　(mL)		100	100
試験滴定量：a (0.0282 mol/L－$AgNO_3$) (mL)		1.1288	1.1291
0.0282 mol/L－$AgNO_3$ のファクター：f		1.002	1.002
塩化物イオン（Cl⁻）量：C (mg/L)		11.311	11.314
平均値 (mg/L)		11.31	

備考

機種名：電位差自動滴定装置ＡＴ－７１０（京都電子工業株式会社）

秋田県生コンクリート工業組合　技術研修センター

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

セメントの凝結時間の差の試験及びモルタルの圧縮強さの比の試験表

試料	No.	基準水	水－５０４９
	工場名	――――	株式会社ホクエツ秋田 大館工場
	種類	精製水	上水道水以外の水（工業用水）
試験方法		セメントの凝結時間の差の試験 （JIS A 5308：2024 附属書JC）	
試験実施場所		技術研修センター　恒温室	
試験年月日		令和 ８ 年 １ 月３０日	
試験値	始発時間	１３５ 分	１４０ 分
	終結時間	１９５ 分	２００ 分
	始発時間の差	――――	５ 分
	終結時間の差	――――	５ 分
試験方法		モルタルの圧縮強さの比の試験（B法） （JIS A 5308：2024 附属書JC）	
試験実施場所		技術研修センター　恒温室・試験室	
供試体製作月日		令和 ８ 年 １ 月２９日	
材齢７日圧縮強さ試験日		令和 ８ 年 ２ 月 ５ 日	
材齢７日圧縮強さ（N／mm^2）		41.6	41.2
材齢７日圧縮強さの比		――――	99 %
材齢２８日圧縮強さ試験日		令和 ８ 年 ２ 月２６日	
材齢２８日圧縮強さ（N／mm^2）		57.6	57.4
材齢２８日圧縮強さの比		――――	100 %
備考			

秋田県生コンクリート工業組合　技術研修センター
以上

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

2026 年 1 月度 ～ 2026 年 6 月度

コンクリート用化学混和剤試験結果報告書

(JIS A 6204)

R 8・4

受付 08.1.07 大館工場

018-5751
秋田県大館市
二井田字前田野３７－１
（株）ホクエツ秋田
大館工場　　御中

種類　高性能減水剤　Ⅰ種

商品　マイテイ２１ＬＶ－Ｓ－２

花王株式会社
機能材料事業部
東京：〒131-8501 東京都墨田区文花2-1-3
TEL. 03－5630－7[illegible]
大阪：〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-1
TEL. 06－6533－7433

053342 － 576837

1．コンクリートの試験結果

項目			JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値
フレッシュコンクリート	減水率 %		12 以上	14	14
	ブリーディング量の比 %		－	－	－
	ブリーディング量の差 cm^3/cm^2		－	－	－
	凝結時間の差 分	始発	+90 以下	+35	+45
		終結	+90 以下	+40	+30
	経時変化量	スランプ cm	－	－	－
		空気量 %	－	－	－
硬化コンクリート	圧縮強度比 %	材齢 1 日	－	－	－
		材齢 2 日 (5℃)	－	－	－
		材齢 7 日	115 以上	149	149
		材齢 28 日	110 以上	138	138
	長さ変化比 %		110 以下	92	－
	凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		－	－	－

注記 1.　$1m^3$ 当たりの化学混和剤の使用量
形式評価試験 1.89 kg/m^3 ，性能確認試験 1.89 kg/m^3

注記 2. 性能確認試験は 6 か月ごとに 1 回実施し，この表に表示している試験値は，2025 年 12 月の試験結果である。ただし，圧縮強度の性能確認試験は 1 年に 1 回実施し，この表に表示している試験値は，2025 年 6 月の試験結果である。

注記 3. この表に表示している形式評価試験は，2025 年 6 月 に 花王株式会社 で実施した試験結果である。

2．塩化物イオン (Cl^-) 量及び全アルカリ量

項目	JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	$1m^3$ 当たりの化学混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン (Cl^-) 量	0.02 kg/m^3 以下	0.00 kg/m^3	0.00 %	1.89 kg/m^3	0.00 kg/m^3
全アルカリ量	0.30 kg/m^3 以下	0.02 kg/m^3	1.0 %	1.89 kg/m^3	0.02 kg/m^3

注記 1.　性能確認試験は 6 か月ごとに 1 回実施し，この表に表示している試験値は，2025 年 12 月の試験結果である。

注記 2.　この表に表示している形式評価試験は，2025 年 6 月 に 花王株式会社 で実施した試験結果である。

3．その他の項目

項目	規格値	試験値
密度 (g/cm^3 20℃)	1.048 ～ 1.088 g/cm^3	1.063 g/cm^3

注記.　この表に表示している試験値は、2025 年 12 月 の試験結果である。

この写しは原本に相違ありません。
(株) ホクエツ 秋田 大館工場

2026 年 1 月度 ～ 2026 年 6 月度

コンクリート用化学混和剤試験結果報告書

（JIS A 6204）

R8・4

受付 08.1.07 大館工場　渡部　中嶋　合

018-5751
秋田県大館市
二井田字前田野３７－１
（株）ホクエツ秋田
大館工場　御中

種類　ＡＥ剤　Ｉ種
商品　マイテイＡＥ－０３

花王株式会社
機能材料事業部
東京：〒131-8501 東京都墨田区文花2丁目1－3
TEL. 03－5630－7800
大阪：〒550-0012 大阪市西区立売堀1－4－1
TEL. 06－6533－7433

053342 － 142943

1．コンクリートの試験結果

項目			JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値
フレッシュコンクリート	減水率 %		6 以上	7	7
	ブリーディング量の比 %		－	－	－
	ブリーディング量の差 cm^3/cm^2		－	－	－
	凝結時間の差 分	始発	-60～+60	+15	+20
		終結	-60～+60	+15	+15
	経時変化量	スランプ cm	－	－	－
		空気量 %	－	－	－
硬化コンクリート	圧縮強度比 %	材齢 1 日	－	－	－
		材齢 2 日 (5℃)	－	－	－
		材齢 7 日	95 以上	107	104
		材齢 28 日	90 以上	103	102
	長さ変化比 %		120 以下	99	－
	凍結融解に対する抵抗性（相対動弾性係数 %）		60 以上	86	－

注記 1.　$1m^3$ 当たりの化学混和剤の使用量
形式評価試験 0.06 kg/m^3，性能確認試験 0.06 kg/m^3

注記 2. 性能確認試験は 6 か月ごとに 1 回実施し，この表に表示している試験値は，2025 年 12 月の試験結果である。ただし，圧縮強度の性能確認試験は 1 年に 1 回実施し，この表に表示している試験値は，2025 年 6 月の試験結果である。

注記 3. この表に表示している形式評価試験は，2020 年 8 月 に 花王株式会社 で実施した試験結果である。

2．塩化物イオン（Cl^-）量及び全アルカリ量

項目	JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	$1m^3$ 当たりの化学混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン（Cl^-）量	0.02 kg/m^3 以下	0.00 kg/m^3	0.00 %	0.06 kg/m^3	0.00 kg/m^3
全アルカリ量	0.30 kg/m^3 以下	0.00 kg/m^3	0.7 %	0.06 kg/m^3	0.00 kg/m^3

注記 1.　性能確認試験は 6 か月ごとに 1 回実施し，この表に表示している試験値は，2025 年 12 月の試験結果である。

注記 2.　この表に表示している形式評価試験は，2020 年 8 月 に 花王株式会社 で実施した試験結果である。

3．その他の項目

項目	規格値	試験値
密度（g/cm^3 20℃）	1.010 ～ 1.050 g/cm^3	1.014 g/cm^3

注記.　この表に表示している試験値は、2025 年 12 月 の試験結果である。

この写しは原本と相違ありません。
(株) ホクエツ秋田 大館工場

R8・4

普通鉄線（SWM－B）検査証明書

証明書番号　202604－002

2026　年　4　月　1　日　発行

JIS　G　3532

納入先　㈱ホクエツ秋田 大館工場　御中

青森昭和産業株式会社
〒036－1325　青森県弘前市大字一町田字村元832－2
TEL (0172) 82-4611 (代)　FAX (0172) 82-4613

線径 (mm)	測定値 (mm)	最大引張荷重 (N)	引張強さ (N／mm2)			外観	判定
2．60	2．59	4450	845			G	GOOD
2．60	2．58	4205	804			G	GOOD
3．20	3．18	5810	732			G	GOOD
3．20	3．17	5630	713			G	GOOD
4．00	3．98	8040	646			G	GOOD
4．00	3．97	7835	633			G	GOOD
5．00	4．98	12560	645			G	GOOD
5．00	4．97	12170	627			G	GOOD
6．00	5．98	17320	617			G	GOOD
6．00	5．97	16840	602			G	GOOD

古山

JIS G 3532 普通鉄線 (SWM-B)

線径 (mm)	許容差 (mm)	引張強さ (N／mm2)
2.30	±0.04	590~1270
2.60・2.90	±0.04	540~1130
3.00・3.20	±0.04	540~1130
3.50・4.00	±0.05	440~1030
4.50	±0.05	440~1030
5.00・5.50・6.00	±0.05	390~930
7.00	±0.06	390~930

上記注文品は、検査の結果指定の規格に合格している事を証明致します。

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

検査証明書

証明書番号 ： 359-902339
契　約　No. ： 09-015-20018　　品　名 ： バーインコイル
出荷依頼書No. ： 09635
出荷案内書No. ： 061370　　規　格 ： JIS G3112 SD295
認証番号QA0307023

発行日　2025年10月28日
Page:1/1　1

契　約　先 ： 伊藤忠丸紅住商テクノスチール㈱　東北支社　棒鋼課
特　約　店 ：
荷　受　人 ： 青森昭和産業（株）
工　事　名 ：

北越メタル株式会社
本社・長岡工場 〒940-0028 新潟県長岡市摩耗土工目3番1号
三条工場 〒955-0852 新潟県三条市南四日町二丁目2番41号

寸法	溶鋼番号	数量	質量 (kg)	C	Si	Mn	P	S	Cu	Cr	Sn	Ni	Mo	V	B	Cr+Mn/6	Ceq	Pcm	試験片番号	降伏点 N/mm²	引張強さ N/mm²	(1) 伸び %	降伏比 %	曲げ試験		備考
				×100			×1000		×100					×1000		×100										
規格値 上限				27	55	150	50	50											2		600					
規格値 下限																				295	440	16				
規格値 上限																										
規格値 下限																										
D6 558	52514	20	10,730	17	12	48	27	20											2	357	521	32	69	GOOD		
D6 558	52515	16	8,584	15	12	46	27	23											2	348	508	33	69	GOOD		
D6 558	52517	4	2,146	17	12	50	26	27											2	350	512	30	68	GOOD		
＊サイズ　計＊		40	21,460																							
＊　総合計　＊		40	21,460																							

青森昭和産業株式会社
青森県弘前市大字一町田字村元482-2
TEL (0172) 82-2461(代)
FAX (0172) 82-2463

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ　秋田大館工場

注(1) JIS G 3112の異形棒鋼で寸法が呼び名D32を超えるものについては、呼び名3を増すごとに14A号試験片の伸びの規格値からそれぞれ2を減じる。ただし、減じる限度は4とする。
上記ご注文品は検査の結果指定の規格に合格したことを証明します。

品質管理責任者
西原浩

R8・4

この書面は、日本製鉄株式会社が発行するミルシート正本ではありません。電磁的記録により作成された正本を便宜上、書面化したものです。

鋼材検査証明書

日本製鉄株式会社
NIPPON STEEL CORPORATION
SteeLinC NEW STEEL AGE
本　社：〒100-8071 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号
北日本製鉄所釜石地区：〒026-8567 岩手県釜石市鈴子町23番15号

注文者店部課コード
注文者照合番号 5821 -018933
注文者 NITTETU BUSSAN
契約番号 5-210-E2-1-X-B452-01
商品名 BAR IN COIL
規格 JIS G 3112 SD295 RN
需要家 AOMORI SHOWA SANGYO
需要家管理番号

証明書番号 2512C0328　　頁 1E
発行年月日 2025年12月24日

寸法 MM	員数	質量 KG	製鋼番号	管理番号	引張試験 (G. L=DX8) 降伏点耐力 (N/MM2)	引張強さ (N/MM2)	伸び %	絞り %	BT			化学成分 % C X100	Si X100	Mn X100	P X1000	S X1000				
D6	1	998	M68520		339	533	27		GOOD			21	20	72	15	14				
	17	17,012	M68676		336	534	26		GOOD			21	20	74	15	15				
TOTAL	18	18,010																		

青森昭和産業株式会社
青森県弘前市大字一町田字若松132-2
TEL (0172) 32-4511
FAX (0172) 87-1613

この写しは原本と相違ありません。
(株)ホクエツ秋田大館工場

備考：
MELTED, POURED AND PROCESSED IN JAPAN

注釈：
G.L：標点距離、BT：曲げ試験、AGS：オーステナイト結晶粒度、DEC：脱炭層深さ試験、P：製品分析
NMI：清浄度

上記注文品は御指定の規格または仕様に従って製造され、その要求事項を満足していることを証明します。

品質保証部　北日本品質保証室長
平林　圭

<注意とお願い>本証明書の改変や不正使用は、固く禁じられております。本証明書の真偽についてご質問がある場合は、次の当社窓口までお問い合わせ下さい（E-mail, bar-wire-rod@jp.nipponsteel.com）。

R8・4

発行日付 2025/12/17

ミルシート番号	出荷番号	商社No.
00176063	00158437	GKW251109-006
		出荷日付
		2025/12/16

鋼材検査証明書

規格 JIS G 3112

TOUGH-CON (タフコン)

共英製鋼株式会社
関東事業所 品質管理課
品質管理責任者 渡邊 俊治
〒300-4111
茨城県土浦市大畑５８０番地
TEL: 029(862)5531
FAX: 029(862)5115

得意先: 合鐵産業株式会社 御中

特約店:
需要家: 青森昭和産業㈱ 岩木工場 殿
工事名:

納入先: 青森昭和産業㈱ 岩木工場 殿

下記納入品は検査の結果指定の規格に合格していることを証明致します。

品名	製造番号	員数	質量(kg)	引張試験 降伏点又は0.2%耐力 (N/mm²)	引張試験 引張強さ (N/mm²)	引張試験 降伏比 (%)	引張試験 伸び率 (%)	曲げ試験 曲げ角度 内側半径	化学成分(%) C ×100	Si ×100	Mn ×100	P ×1000	S ×1000	Ni ×100	Cr ×100	Mo ×1000	V ×1000	Ceq ×100
				295以上	440-600	—	16以上	180° 1.5D	27以下	55以下	150以下	50以下	50以下	—	—	—	—	—
SD295 D10 6.000m	42754	1,800	6,048	358	487	74	27	GOOD	15	13	71	29	33	10	23	17	5	33
SD295 D10 6.000m	43033	1,800	6,048	365	489	75	28	GOOD	16	15	79		36	9	28	13		
	小計	3,600	12,096															
合計		3600	12,096															

青森昭和産業株式会社
青森県弘前市大字一町田字村元[illegible]
TEL (0172) 82-[illegible]
FAX (0172) 82-[illegible]

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

R8・4

鋼材検査証明書

規格　JIS G 3112

発行日付 2025/12/23

ミルシート番号	出荷番号	商社No.
00176442	00158803	GKW251209-005
		出荷日付
		2025/12/22

得意　：合鐵　業株式会　御中

特約店：
需要家　青森昭和産業㈱　岩木工場　殿
工事名：倉入れ

納入先：青森昭和産業㈱ 岩木工場　殿

TOUGH-CON

共英製鋼株式会社
関東事業所　品質管理課
品質管理責任者　渡邊　俊治
〒300-4111
茨城県土浦市大畑５８０番地
TEL：029(862)5531
FAX：029(862)5115

下記納入品は検査の結果指定の規格に合格していることを証明致します。

品名	製造番号	員数	質量(kg)	引張試験 降伏点又は0.2%耐力 (N/mm²)	引張試験 引張強さ (N/mm²)	引張試験 降伏比 (%)	引張試験 伸び率 (%)	曲げ試験 曲げ角度 内側半径	化学成分(%) C ×100	Si ×100	Mn ×100	P ×1000	S ×1000	Ni ×100	Cr ×100	Mo ×1000	V ×1000	Ceq ×100
				295以上	440-600	—	16以上	180° 1.5D	27以下	55以下	150以下	50以下	50以下	—	—	—	—	—
SD295-D10-6.000m	43024	3,600		357	487	73	27	GOOD	18	15	68	30	30	8	20	9	3	34
	小計	3,600	2,096															
合計		3600	12,096															

青森昭和産業株式会社
青森県弘前市大字一町田字樋元[illegible]
TEL (0172) 82-[illegible]
FAX (0172) 82-[illegible]

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

R8・4

製品検査証明書

ONICON

株式会社 伊藤製鐵所
本　社　東京都千代田区神田小川町一丁目3番地1
TEL. 03(5829)4630
筑波工場　茨城県つくば市片田486番地
TEL. 029(837)2111
＊石巻工場　宮城県石巻市重吉町2番地
TEL. 0225(96)1111

契約番号 25ZA5001-19
商　社 日鉄物産㈱東北支店
特約店 (株) 吉田産業　青森支店
需要家 青森昭和産業 (株)
工事名
製品名 鉄筋コンクリート用棒鋼　異形棒鋼　　100793-20
規　格 JIS G 3112　　種類 SD295　　総質量 13,373 kg　　証明書番号 51260890　　発行日 25.12.18

納入明細						機械的性質						化学成分 %												
溶鋼番号	呼び名	長さ m	本数	質量 kg	小計 kg	試験片(号)	降伏点又は耐力 N/mm²	引張強さ N/mm²	伸び %	降伏比 %	曲げ試験 角度180度 内側半径	C ×100	Si ×100	Mn ×100	P ×1000	S ×1000								
							295 以上	440 ～ 600	≧ 16		1.5D	27 ≦	55 ≦	150 ≦	50 ≦	50 ≦								
1223	D13	6.000	2,240	13,373	13,373	2	360	498	23		GOOD	18	18	61	30	29								

青森昭和産業株式会社
青森県五所川原市大字一町田字村元[illegible]
TEL (0172) 82-[illegible]
FAX (0172) 82-[illegible]

この写しは原本と相違ありません。
(株) ホクエツ秋田大館工場

上記注文品はご指定の規格又は仕様に従って製造され、その要求事項を満足していることを証明します。

R8・4
①

This Inspection Certificate is printed with special forgery proof technology.
この用紙は特殊偽造防止技術を使用しております。

鋼材検査証明書

規格　JIS G 3112

発行日付 2026/03/06

ミルシート番号	出荷番号	商社No.
00180449	00162471	GKW260209-003
		出荷日付
		2026/03/05

得意先：合鐵産業株式会社　御中

特約店：
需要家：青森昭和産業㈱　岩木工場　殿
工事名：倉入れ

納入先：青森昭和産業㈱ 岩木工場　殿

TOUGH CON（タフコン）

共英製鋼株式会社
関東事業所　品質管理課
品質管理責任者　渡邊　俊治
〒300-4111
茨城県土浦市大畑５８０番地
TEL：029(862)5531
FAX：029(862)5115

下記納入品は検査の結果指定の規格に合格していることを証明致します。

品名	製造番号	員数	質量(kg)	引張試験 降伏点又は0.2%耐力 (N/mm²)	引張試験 引張強さ (N/mm²)	引張試験 降伏比 (%)	引張試験 伸び率 (%)	曲げ試験 曲げ角度 内側半径	化学成分(%) C ×100	Si ×100	Mn ×100	P ×1000	S ×1000	Ni ×100	Cr ×100	Mo ×1000	V ×1000	Ceq ×100
				295以上	440-600	—	16以上	180° 1.5D	27以下	55以下	150以下	50以下	50以下	—	—	—	—	—
SD295 D13 6.000m	43681	2,100	12.537	363	479	76	26	GOOD	15	13	63	32	38	11	31	15	5	33
	小計	2,100	12,537															
合計		2	12.537															

青森昭和産業株式会社
TEL (0172
FAX (0172

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

R8・4

5.コンクリート試験管理表

①圧縮強度管理図

②スランプ管理図

③空気量管理図

④生コン中の塩化物量測定記録

QRコード
貼付位置

$x - Rs$管理図

令和 8年 4月1日 ～ 令和 8年 4月30日　　配合No. 21　　大館 工場

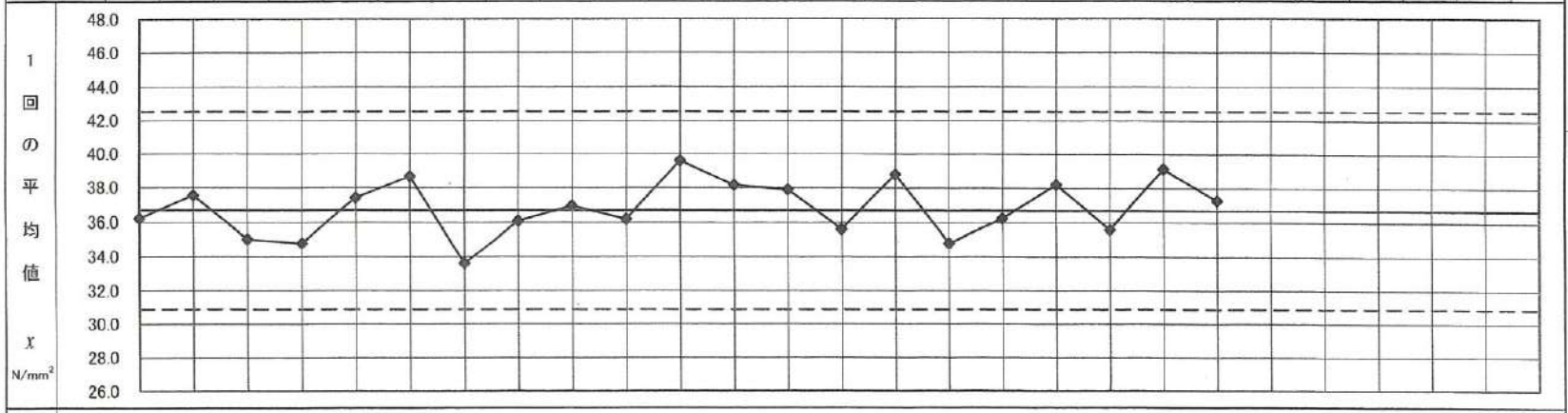
工場長	品質管理責任者	品質管理係
長谷川	中嶋	渡部

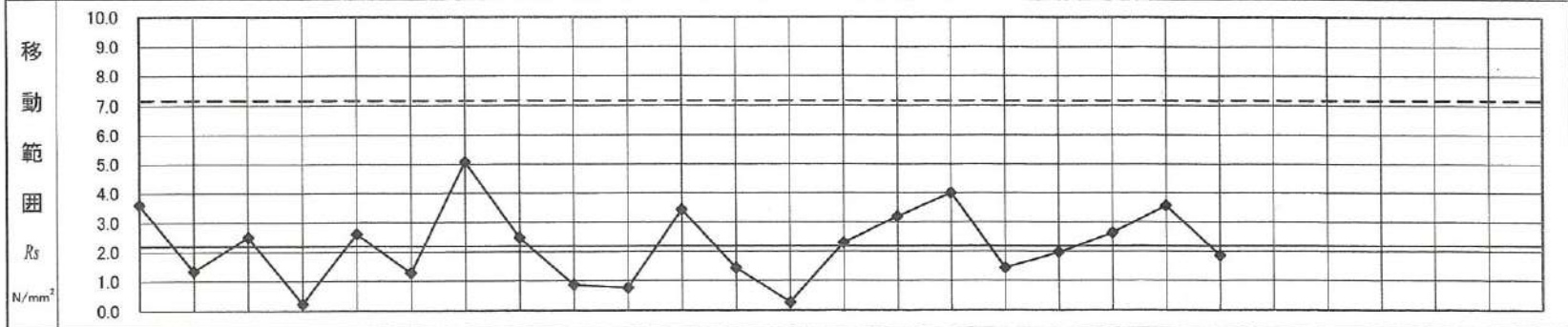
n		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
採取月日		1	2	3	6	7	8	9	10	13	14	15	16	17	20	21	22	23	24	27	28	30						
強度 (N/mm²)	x_1	36.2	37.8	35.5	34.8	36.4	37.9	33.1	36.2	36.7	35.3	39.0	37.9	37.9	34.5	38.5	34.8	37.1	38.5	36.5	39.6	36.3						
	x_2	36.2	36.5	34.8	34.8	37.9	39.3	32.8	36.0	36.7	37.2	39.7	38.5	37.9	35.8	39.3	34.8	35.1	38.2	35.9	39.9	37.2						
	x_3	36.2	38.3	34.8	34.8	37.9	38.8	34.9	36.0	37.4	36.0	40.1	38.1	37.9	36.5	38.6	34.8	36.5	37.9	34.3	37.9	38.3						
x		36.20	37.53	35.03	34.80	37.40	38.67	33.60	36.07	36.93	36.17	39.60	38.17	37.90	35.60	38.80	34.80	36.23	38.20	35.57	39.13	37.27						
X_{ave}		37.38	37.84	36.25	35.79	35.74	36.96	36.56	36.11	35.53	36.39	37.57	37.98	38.56	37.22	37.43	36.40	36.61	36.41	36.67	37.63	37.32						
Rs		3.6	1.3	2.5	0.2	2.6	1.3	5.1	2.5	0.9	0.8	3.4	1.4	0.3	2.3	3.2	4.0	1.4	2.0	2.6	3.6	1.9						
合否判定		G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G						

標準材令	7日	養生	製品同一養生
設計基準強度	$f'ck =$ 30.0 N/mm^2		
$\sum x =$ 773.7	$\overline{x} =$ 36.84	$Cv =$ 4.41%	
$\sum Rs =$ 46.8	$\overline{Rs} =$ 2.23	$\sigma =$ 1.63	

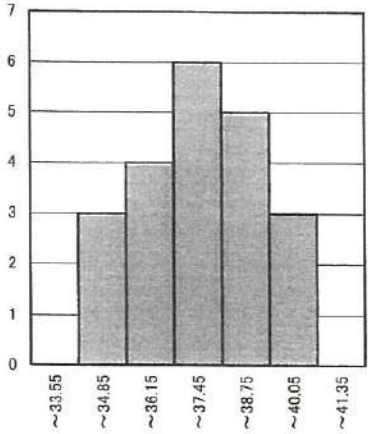
$$Cv = \sigma / \overline{x} \times 100$$

$$\sigma = \sqrt{\frac{1}{n-1}\left[\Sigma x^2 - \frac{(\Sigma x)^2}{n}\right]}$$





ヒストグラム　n= 21　h= 1.3



$\frac{\overline{x} - f'ck}{\sqrt{3}\,\sigma} = 2.43$　　$\frac{\overline{x} - 0.9\,f'ck}{3\sigma} = 2.02$

x管理図

$UCL = \overline{x} + 2.66\overline{Rs} =$ 42.77

$LCL = \overline{x} - 2.66\overline{Rs} =$ 30.92

Rs管理図

$UCL = 3.267\overline{Rs} =$ 7.28

$LCL =$ 考えない

合否判定基準

① 1回の試験結果(X_1～X_3の平均値X)は、設計基準強度の90%以上。

② 直近3回の平均値(X_{ave})は、設計基準強度以上。

記事

前回データ

前回最後 $x =$ 39.80			
前回最後から2番目 $x =$ 36.13			
$\overline{x} =$ 36.69	$UCL =$ 42.52	$LCL =$ 30.86	
$\overline{Rs} =$ 2.19	$UCL =$ 7.16	$LCL =$ —	

R8・4

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ 秋田大館工場

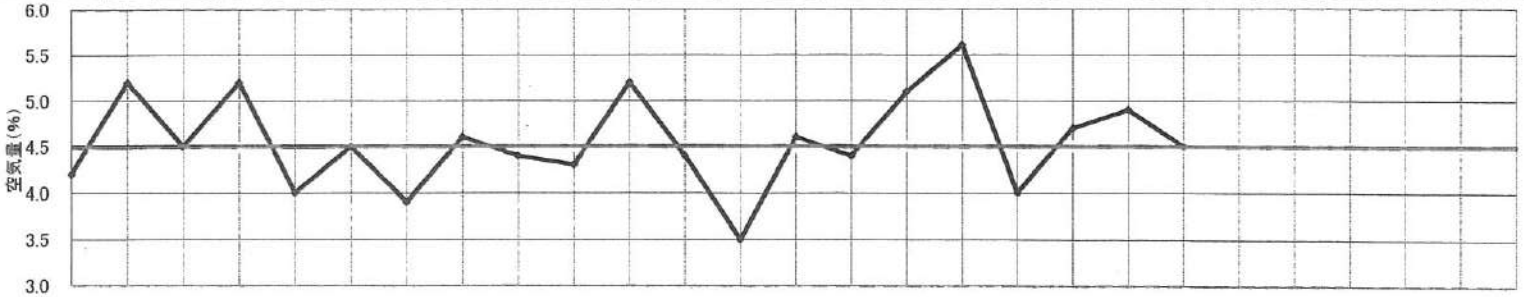
2204

空気量管理図

8 年 4 月　　大館工場

工場長	品質管理責任者	品質管理係
長谷川	中嶋	渡部

配合No.	測定No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
	測定日	1	2	3	6	7	8	9	10	13	14	15	16	17	20	21	22	23	24	27	28	30						
21	測定値	4.2	5.2	4.5	5.2	4.0	4.5	3.9	4.6	4.4	4.3	5.2	4.4	3.5	4.6	4.4	5.1	5.6	4.0	4.7	4.9	4.5						
	合否判定	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G						



記事

目標値(%) = 4.5

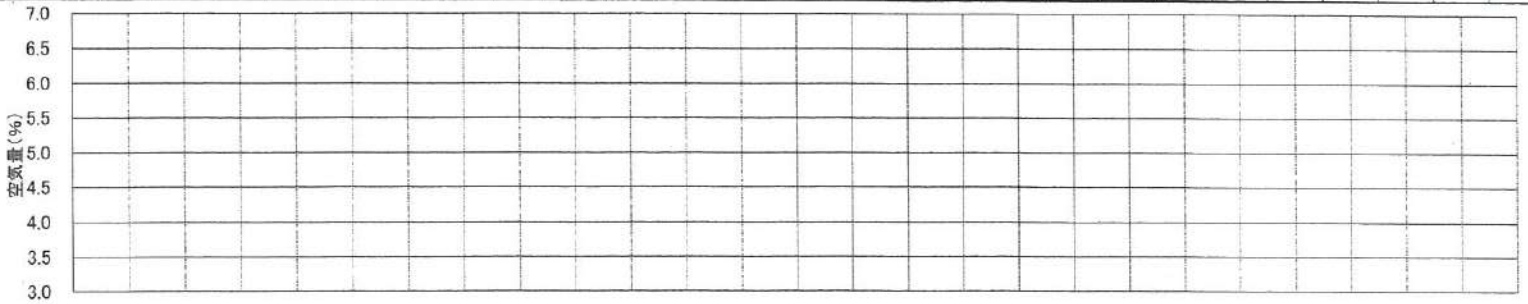
目標範囲(%) = ±1.5

検査数 n = 21

平均値 AVGX = 4.56

標準偏差 = 0.51

配合No.	測定No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
	測定日																											
	測定値																											
	合否判定																											



記事

目標値(%) =

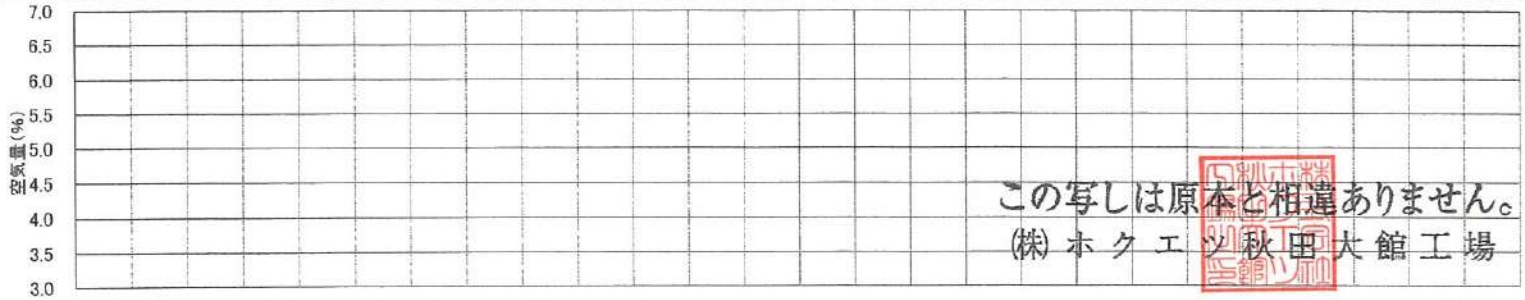
目標範囲(%) =

検査数 n = 0

平均値 AVGX = #DIV/0!

標準偏差 = #DIV/0!

配合No.	測定No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
	測定日																											
	測定値																											
	合否判定																											



記事

目標値(%) =

目標範囲(%) =

検査数 n = 0

平均値 AVGX = #DIV/0!

標準偏差 = #DIV/0!

この写しは原本と相違ありません。
(株)ホクエツ秋田大館工場

R8・4

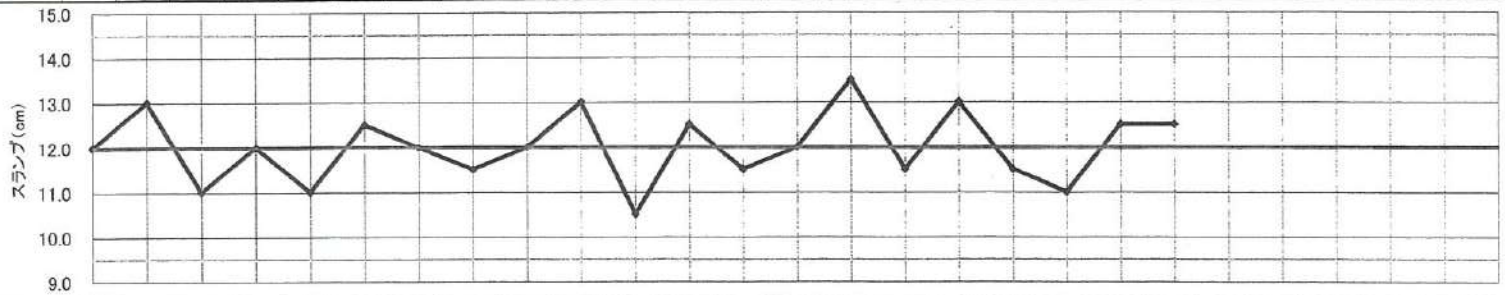
スランプ管理図

8 年 4 月　　大館 工場

工場長	品質管理責任者	品質管理係
春川	中嶋	渡部

配合No. 21

測定No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
測定日	1	2	3	6	7	8	9	10	13	14	15	16	17	20	21	22	23	24	27	28	30						
測定値	12.0	13.0	11.0	12.0	11.0	12.5	12.0	11.5	12.0	13.0	10.5	12.5	11.5	12.0	13.5	11.5	13.0	11.5	11.0	12.5	12.5						
合否判定	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G						



記事

目標値(cm) = 12.0

目標範囲(cm) = ±2.5

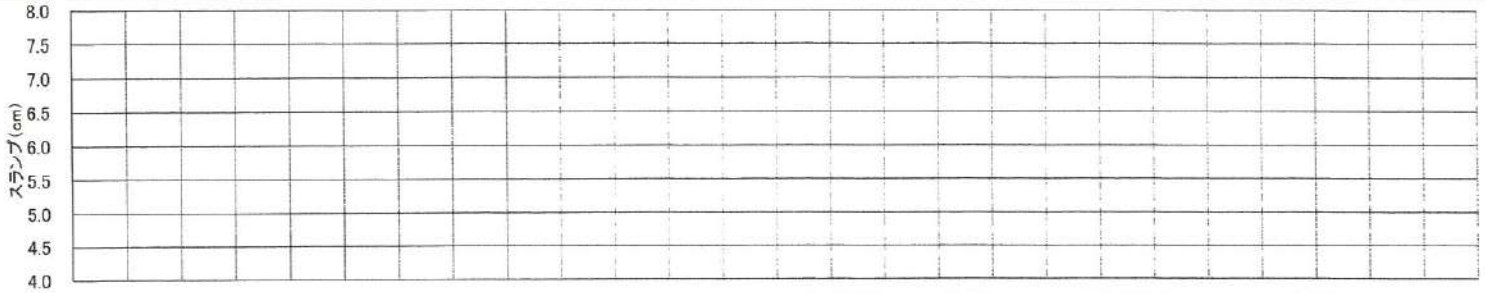
検査数 n = 21

平均値 AVGX = 12.00

標準偏差 = 0.79

配合No.

測定No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
測定日																											
測定値																											
合否判定																											



記事

目標値(cm) =

目標範囲(cm) =

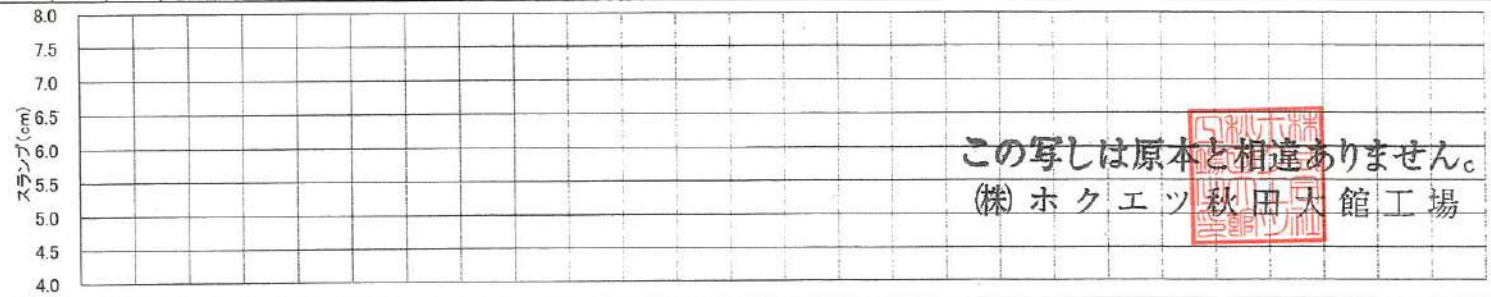
検査数 n =

平均値 AVGX =

標準偏差 =

配合No.

測定No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
測定日																											
測定値																											
合否判定																											



記事

目標値(cm) =

目標範囲(cm) =

検査数 n =

平均値 AVGX =

標準偏差 =

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

R8・4

品質管理責任者	品質管理係
中嶋	渡部

生コンクリート中の塩化物量測定記録

測定年月日		8年4月1日		
測定工場名		大館工場		
測定者		渡部銀慈		
塩分濃度計		ソルメイト100		
配合	No.	21		
	適用品種	振動詰製品		
	単位水量	147 (kg/m^3)		
濃度計の目盛		No.1	No.2	No.3
		0.021%	0.023%	0.024%
塩化物量	換算値	0.031	0.034	0.035
	平均値	0.033 (kg/m^3)		
判定基準		0.30 kg/m^3 以下		
判定		合格 不合格		
備考				

資料添付

8- 4-01 13:30
No:_____ ____ ____
W 147 ｷﾛ/m3

ｺﾝｸﾘｰﾄ C1 ｶﾝﾃﾝ
1

ｿｳﾘｮｳ 0.031Kｇ/m3
ｽｲﾖｰｴｷ 0.021 %

ｿｸﾃｲｼｬ:_____ ____

渡部

8- 4-01 13:30
No:_____ ____ ____
W 147 ｷﾛ/m3

ｺﾝｸﾘｰﾄ C1 ｶﾝﾃﾝ
2

ｿｳﾘｮｳ 0.034Kｇ/m3
ｽｲﾖｰｴｷ 0.023 %

ｿｸﾃｲｼｬ:_____ ____

8- 4-01 13:30
No:_____ ____ ____
W 147 ｷﾛ/m3

ｺﾝｸﾘｰﾄ C1 ｶﾝﾃﾝ
3

ｿｳﾘｮｳ 0.035Kｇ/m3
ｽｲﾖｰｴｷ 0.024 %

ｿｸﾃｲｼｬ:_____ ____

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

6.試験機公正証明書

①圧縮強度試験機

②外圧強度試験機

③トレーサビリティ体系

R8・4

圧縮試験機 耐圧盤検査成績書

No	25 149

依頼者　株式会社ホクエツ秋田 大館工場　殿

〒014-0041秋田県大仙市大曲丸子町8-
株式会社 増井商会
Tel 0187-62-3415　Fax 0187-62-0966

最大容量　1000kN　製造番号　1940

適用規格	JIS B 7721	検査年月日	2025年11月17日	測定者	
		検査場所	株式会社ホクエツ秋田 大館工場		

	名称		測定能力	製造者	製造番号	校正周期	有効期限
検査機器	平面度検査器	ダイヤルゲージ	0.001～1mm	㈱ミツトヨ	FAP204	3年	2026年12月31日
	硬さ試験機(ショア式D型)		0～95HS	㈱仲井精機	20691	5年	2029年9月30日
	デジタル角度計		0.01～90.0°	㈱ミツトヨ	000631	3年	2027年1月31日

検査項目		平面度(mm)	硬さ(HRC)	*(HS)	球面座回転角(°)
	(許容値)	0.010 以内	55 以上	(73.2)	3 以上
【上側】	測定値	0.007	60	81.5	4.5
	部分判定	合	合		合
				総合判定	合
【下側】	測定値	0.005	60	81.2	
	部分判定	合	合		
				総合判定	合

＊硬さは5ポイント測定した平均値です。

受付 07.11.20 大館工場

備考;　＊JIS B 7721 附属書Bによる。

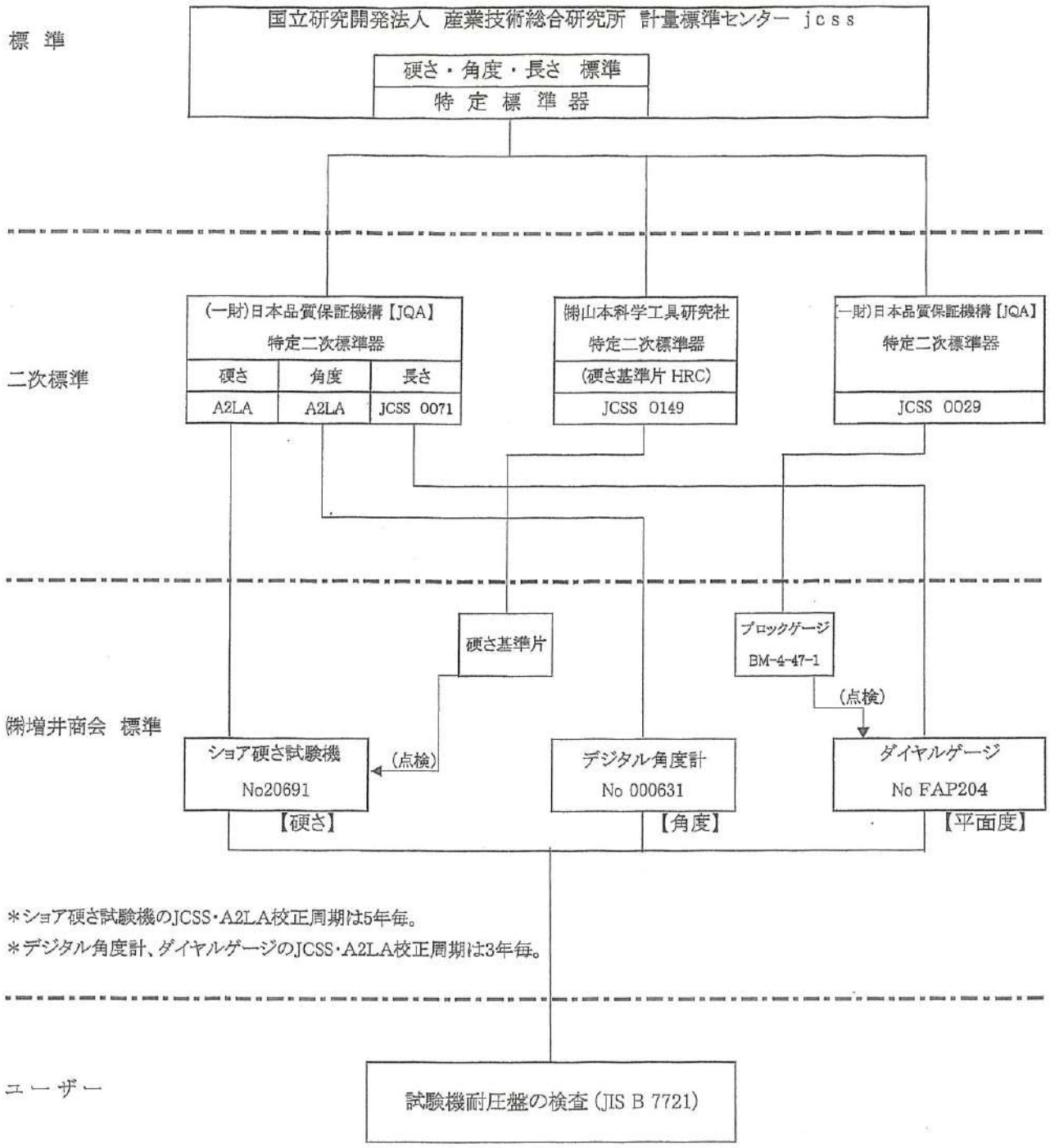
＊硬さは,ショアーD型(HS)で測定し,ロックウェルCスケール(HRC)に換算して記載している。

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田 大館工場

R8・4

試験機耐圧盤検査のトレーサビリティ体系

200302



検査に使用した測定器具は上記体系図のとおり国家標準にトレーサブルである。

株式会社 増 井 商 会

代表 増 井 龍 一

2025 年 11 月 17 日

計量士 No13345 増 井 耕 太

この写しは原本と相違ありません。
㈱ ホ ク エ ツ 秋 田 大 館 工 場

校正証明書番号 M-25233

校　正　証　明　書

顧客名	株式会社ホクエツ秋田 大館工場
顧客住所	秋田県大館市二井田字前田野37-1
名称	油圧式一軸試験機
型式	曲げ
能力	圧縮:300 kN
製造番号	1940 B
試験機番号	09-C-232
製造年月	1990年10月
製造者名	株式会社　杉本試験機製作所
検証報告書番号	m-25233
力指示計	アナログ（目盛板と指針）
センサー種類	計測ラム・シリンダー
センサー識別	無し
総レンジ数	3R：300, 150, 60 kN
校正レンジ	圧縮：300, 150, 60 kN
校正方法	JIS B 7721:2018(ISO 7500-1:2015)による
実施条件	2頁のとおり
トランスファスタンダード	3頁のとおり
校正結果	4～5頁のとおり
受付年月日	2025年11月7日
校正年月日	2025年11月17日
校正実施場所	秋田県大館市二井田字前田野37-1

校正結果は以上のとおりであることを証明する

2025年11月19日

秋田県大仙市大曲丸子町8-1

株式会社　増井商会

代表　増井龍一

計量士登録番号第13345号　増井耕太

この証明書は、日本産業規格に基づくものであり使用した校正機器は国家標準にトレーサブルな標準値が付与されております。
発行機関の書面による承認なしにこの証明書の一部のみを複製して用いることは禁じられています。

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

校正の実施条件

1) 一軸試験機の校正は、3頁に記載した圧縮用力計をトランスファスタンダードとして用い、一軸試験機の力伝達系を含む力測定系全体に圧縮力を作用させて実施した。
2) 予備負荷の回数は 3回である。
3) 校正を行う最小レンジでは、ピストンの位置を　20 %　40 %　60 %　に変更して実施した。
4) 予備負荷及び／又は各負荷サイクルの間の待機時間は、1分である。
5) 力計の指示値の測定は、負荷が校正力に達すると同時に行った。
6) 力計の位置変更をせず実施した。
7) 附属品の評価は、最小レンジにおいて実施した。
8) 一軸試験機及び／又は校正に必要な機器等は、校正を始める1時間前からすべての校正が終了するまで連続した通電が行われた。
9) 校正実施場所の温度は 18.4 ℃～18.6 ℃、湿度は 55.0 %±1.0 %、気圧は 1003 hPaであった。
なお、各測定シリーズを校正中の温度変動は2 ℃以内であった。
10) 一般検査において異常は認められなかった。

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

校正に使用したトランスファスタンダード

管理番号	LC-06B
名称及び器物番号	ロードセル:No. AHG100003
校正証明書番号	53-2473221-002
型式及び定格容量	CLJ-300KNB: (300 kN)
指示計型式及び番号	SCOUT55:No. 137062001
不確かさ及び等級	20 kN～ 300 kN 相対拡張不確かさ(k=2) 0.066 % 1 級
	60 kN～ 300 kN 相対拡張不確かさ(k=2) 0.049 % 0.5級
校正温度	22.9 ℃
校正年月日	2024年11月14日
内挿校正式の有無	あり
指示装置との組合せ	組合わせ校正

管理番号	LC-05B
名称及び器物番号	ロードセル:No. AHE110002
校正証明書番号	53-2580770
型式及び定格容量	CLJ-100KNB: (100 kN)
指示計型式及び番号	SCOUT55:No. 137062001
不確かさ及び等級	4 kN～ 100 kN 相対拡張不確かさ(k=2) 0.043 % 1 級
校正温度	22.9 ℃
校正年月日	2025年9月8日
内挿校正式の有無	あり
指示装置との組合せ	組合わせ校正

上記の相対拡張不確かさは信頼の水準約95%に相当する。

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエー秋田大館工場

校正証明書番号 M-25233

校正結果

レンジ容量：300 kN　　等級　0.5

力 (kN)	相対指示誤差 q(%)	相対拡張不確かさ $U_{_cal_utm}$(%)	相対繰返し誤差 b(%)	相対ゼロ誤差 f_0(%)	相対分解能 a(%)	相対往復誤差 v(%)	トランスファスタンダード管理番号
60.0	0.03	0.29	0.02	0.00	0.17	0.25	LC-06B
120.0	0.04	0.27	0.03	0.00	0.08	0.12	LC-06B
180.0	0.08	0.27	0.07	0.00	0.06	0.06	LC-06B
240.0	0.06	0.26	0.01	0.00	0.04	0.13	LC-06B
300.0	-0.20	0.26	0.01	0.00	0.03	-	LC-06B

レンジ容量：150 kN　　等級　1

力 (kN)	相対指示誤差 q(%)	相対拡張不確かさ $U_{_cal_utm}$(%)	相対繰返し誤差 b(%)	相対ゼロ誤差 f_0(%)	相対分解能 a(%)	相対往復誤差 v(%)	トランスファスタンダード管理番号
30.0	0.03	0.30	0.03	0.00	0.17	-	LC-06B
60.0	0.15	0.27	0.02	0.00	0.08	-	LC-06B
90.0	0.26	0.27	0.03	0.00	0.06	-	LC-06B
120.0	0.29	0.26	0.02	0.00	0.04	-	LC-06B
150.0	0.04	0.26	0.01	0.00	0.03	-	LC-06B

上記の拡張不確かさは信頼の水準約95 %に相当し、包含係数kは2である。
拡張不確かさは、JCG204S21 不確かさの見積もりに関するガイド(力／一軸試験機)に従って算出した。
相対指示誤差の決定は、JIS B 7721:2018の6.4.5項、6.4.8項及び6.5項、相対分解能の決定は同6.2項及び6.3項、等級分類の判定基準は同6.4.6項及び7項による。

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

校正証明書番号 M-25233

校正結果

レンジ容量：60 kN　　等級　1

力 (kN)	相対指示誤差 q(%)	相対拡張不確かさ U_{cal_utm} (%)	相対繰返し誤差 b(%)	相対ゼロ誤差 f_0(%)	相対分解能 a(%)	相対往復誤差 v(%)	トランスファスタンダード管理番号
6.0	-0.11	0.30	0.52	0.00	0.33	0.57	LC-05B
12.0	0.11	0.22	0.40	0.00	0.17	0.46	LC-05B
24.0	0.23	0.22	0.13	0.00	0.08	0.42	LC-05B
36.0	0.40	0.22	0.14	0.00	0.06	0.23	LC-05B
48.0	0.46	0.22	0.09	0.00	0.04	0.25	LC-05B
60.0	0.13	0.22	0.09	0.00	0.03	-	LC-05B

上記の拡張不確かさは信頼の水準約95 %に相当し、包含係数kは2である。
拡張不確かさは、JCG204S21 不確かさの見積もりに関するガイド(力／一軸試験機)に従って算出した。
相対指示誤差の決定は、JIS B 7721:2018の6.4.5項、6.4.8項及び6.5項、相対分解能の決定は同6.2項及び6.3項、等級分類の判定基準は同6.4.6項及び7項による。

以下余白

受付 07.11.28 大館工場　渡部　中嶋　合

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

校正証明書番号 M-25234

校　正　証　明　書

顧客名	株式会社ホクエツ秋田 大館工場
顧客住所	秋田県大館市二井田字前田野37-1
名称	油圧式一軸試験機
型式	アムスラー
能力	圧縮:1000 kN
製造番号	1940
試験機番号	09-C-233
製造年月	1990年10月
製造者名	株式会社　杉本試験機製作所
検証報告書番号	m-25234
力指示計	アナログ（目盛板と指針）
センサー種類	計測ラム・シリンダー
センサー識別	無し
総レンジ数	4R：1000, 500, 250, 100 kN
校正レンジ	圧縮：1000, 500, 250, 100 kN
校正方法	JIS B 7721:2018(ISO 7500-1:2015)による
実施条件	2頁のとおり
トランスファスタンダード	3頁のとおり
校正結果	4～5頁のとおり
受付年月日	2025年11月7日
校正年月日	2025年11月17日
校正実施場所	秋田県大館市二井田字前田野37-1

校正結果は以上のとおりであることを証明する

2025年11月19日

秋田県大仙市大曲丸子町8-1

株式会社　増井商会

代表　増井龍一

計量士 登録番号 第13345号　増 井 耕 太

この証明書は、日本産業規格に基づくものであり使用した校正機器は国家標準にトレーサブルな標準値が付与されております。
発行機関の書面による承認なしにこの証明書の一部のみを複製して用いることは禁じられています。

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

校正の実施条件

1) 一軸試験機の校正は、3頁に記載した圧縮用力計をトランスファスタンダードとして用い、一軸試験機の力伝達系を含む力測定系全体に圧縮力を作用させて実施した。
2) 予備負荷の回数は 3回である。
3) 校正を行う最小レンジでは、ピストンの位置を　20 %　40 %　60 %　に変更して実施した。
4) 予備負荷及び／又は各負荷サイクルの間の待機時間は、1分である。
5) 力計の指示値の測定は、負荷が校正力に達すると同時に行った。
6) 力計の位置変更をせず実施した。
7) 附属品の評価は、最小レンジにおいて実施した。
8) 一軸試験機及び／又は校正に必要な機器等は、校正を始める1時間前からすべての校正が終了するまで連続した通電が行われた。
9) 校正実施場所の温度は 19.0 ℃～19.9 ℃、湿度は 50.5 %±1.5 %、気圧は 1004 hPaであった。
なお、各測定シリーズを校正中の温度変動は2 ℃以内であった。
10) 一般検査において異常は認められなかった。

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエー秋田大館工場

校正証明書番号 M-25234

校正に使用したトランスファスタンダード

管理番号	LC-07B
名称及び器物番号	ロードセル:No. AHI100005
校正証明書番号	53-2473221-001
型式及び定格容量	CLJ-1MNB: (1000 kN)
指示計型式及び番号	SCOUT55:No. 137062001
不確かさ及び等級	40 kN～ 1000 kN 相対拡張不確かさ(k=2) 0.066 % 1 級
校正温度	22.9 ℃
校正年月日	2024年11月14日
内挿校正式の有無	あり
指示装置との組合せ	組合わせ校正

管理番号	LC-06B
名称及び器物番号	ロードセル:No. AHG100003
校正証明書番号	53-2473221-002
型式及び定格容量	CLJ-300KNB: (300 kN)
指示計型式及び番号	SCOUT55:No. 137062001
不確かさ及び等級	20 kN～ 300 kN 相対拡張不確かさ(k=2) 0.066 % 1 級
	60 kN～ 300 kN 相対拡張不確かさ(k=2) 0.049 % 0.5級
校正温度	22.9 ℃
校正年月日	2024年11月14日
内挿校正式の有無	あり
指示装置との組合せ	組合わせ校正

上記の相対拡張不確かさは信頼の水準約95%に相当する。

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

校正証明書番号 M-25234

校正結果

レンジ容量：1000 kN　　等級　1

力 (kN)	相対指示誤差 q(%)	相対拡張不確かさ U_{cal_utm} (%)	相対繰返し誤差 b(%)	相対ゼロ誤差 f_0(%)	相対分解能 a(%)	相対往復誤差 v(%)	トランスファスタンダード管理番号
200.0	−0.08	0.35	0.09	0.00	0.20	0.10	LC-07B
400.0	−0.12	0.31	0.02	0.00	0.10	0.18	LC-07B
600.0	−0.05	0.30	0.01	0.00	0.07	0.15	LC-07B
800.0	−0.08	0.30	0.01	0.00	0.05	0.13	LC-07B
1000.0	−0.32	0.30	0.01	0.00	0.04	−	LC-07B

レンジ容量：500 kN　　等級　1

力 (kN)	相対指示誤差 q(%)	相対拡張不確かさ U_{cal_utm} (%)	相対繰返し誤差 b(%)	相対ゼロ誤差 f_0(%)	相対分解能 a(%)	相対往復誤差 v(%)	トランスファスタンダード管理番号
100.0	0.00	0.34	0.04	0.00	0.20	−	LC-07B
200.0	0.01	0.31	0.02	0.00	0.10	−	LC-07B
300.0	0.08	0.30	0.01	0.00	0.07	−	LC-07B
400.0	0.10	0.30	0.02	0.00	0.05	−	LC-07B
500.0	−0.13	0.30	0.02	0.00	0.04	−	LC-07B

上記の拡張不確かさは信頼の水準約95 %に相当し、包含係数kは2である。
拡張不確かさは、JCG204S21 不確かさの見積もりに関するガイド(力／一軸試験機)に従って算出した。
相対指示誤差の決定は、JIS B 7721:2018の6.4.5項、6.4.8項及び6.5項、相対分解能の決定は同6.2項及び6.3項、等級分類の判定基準は同6.4.6項及び7項による。

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

校正証明書番号 M-25234

校正結果

レンジ容量：250 kN　　等級　1

力 (kN)	相対指示誤差 q(%)	相対拡張不確かさ $U_{_cal_utm}$ (%)	相対繰返し誤差 b(%)	相対ゼロ誤差 f_0(%)	相対分解能 a(%)	相対往復誤差 v(%)	トランスファスタンダード管理番号
50.0	−0.27	0.31	0.04	0.00	0.20	−	LC-06B
100.0	−0.03	0.27	0.01	0.00	0.10	−	LC-06B
150.0	0.09	0.27	0.02	0.00	0.07	−	LC-06B
200.0	0.12	0.26	0.01	0.00	0.05	−	LC-06B
250.0	−0.13	0.26	0.02	0.00	0.04	−	LC-06B

レンジ容量：100 kN　　等級　1

力 (kN)	相対指示誤差 q(%)	相対拡張不確かさ $U_{_cal_utm}$ (%)	相対繰返し誤差 b(%)	相対ゼロ誤差 f_0(%)	相対分解能 a(%)	相対往復誤差 v(%)	トランスファスタンダード管理番号
20.0	−0.42	0.31	0.50	0.00	0.20	1.10	LC-06B
40.0	0.02	0.28	0.20	0.00	0.10	0.83	LC-06B
60.0	0.24	0.27	0.22	0.00	0.07	0.67	LC-06B
80.0	0.33	0.27	0.16	0.00	0.05	0.46	LC-06B
100.0	−0.01	0.26	0.10	0.00	0.04	−	LC-06B

上記の拡張不確かさは信頼の水準約95 %に相当し、包含係数kは2である。
拡張不確かさは、JCG204S21 不確かさの見積もりに関するガイド(力／一軸試験機)に従って算出した。
相対指示誤差の決定は、JIS B 7721:2018の6.4.5項、6.4.8項及び6.5項、相対分解能の決定は同6.2項及び6.3項、等級分類の判定基準は同6.4.6項及び7項による。

以下余白

受付 '07.11.20 大館工場　渡部　中嶋　合

この写しは原本と相違ありません。
㈱ホクエツ秋田大館工場

R8・4

241201

一軸試験機のトレーサビリティ体系

標 準

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 計量標準センター jcss

力標準	質量標準
特定標準器	特定標準器

二次標準

(一財)日本品質保証機構【JQA】	(株)昭和測器	(株)東京測器研究所	(一財)日本品質保証機構【JQA】
JCSS 0064	JCSS 0112	JCSS 0090	JCSS 0029
特定二次標準器	特定二次標準器	特定二次標準器	特定二次標準器

(株)増井商会 標準

環状ばね型力計・容積型力計

能力(kN)	器物番号	管理番号

ロードセル型力計

能力(kN)	器物番号	管理番号
1	AHM08044	LC-01
3	AHM08045	LC-02
10	AHQ08004	LC-03
30	AHS08003	LC-04
100	AHE08006	LC-05
100	AHE110002	LC-05B
300	AHG07007	LC-06
300	AHG100003	LC-06B
1000	AHI07008	LC-07
1000	AHI100005	LC-07B
3000	AHK07004	LC-08
5000	A190057101	LC-09

・力計のJCSS校正周期は2年毎
(JIS B 7728 8.3.2)

ニュートンおもり(1N～20N 27個 計220N)

能力(N) 数量	器物番号	管理番号
1～5 5	8 (8_1～8_5)	WN1
2～10 5	8 (8_1～8_5)	WN2
5～25 5	8 (8_1～8_5)	WN5
10～60 6	8 (8_1～8_6)	WN10
20～120 6	8 (8_1～8_6)	WN20

・おもりのJCSS校正周期は5年毎
(＊JCT20402 4.3)に準ずる

＊独立行政法人 製品評価技術基盤機構 認定センター
発行<JCSS技術的要求事項適用指針>

ユーザー

一軸試験機

校正に使用した標準器は上記体系図のとおり国家標準にトレーサブルである。

2025 年 11 月 17 日

株式会社 増井商会

代表 増井龍一

計量士 No13345 増井耕太

＊校正に使用した標準器は校正証明書に記載されています。

この写しは原本と相違ありません。
(株)ホクエツ秋田大館工場